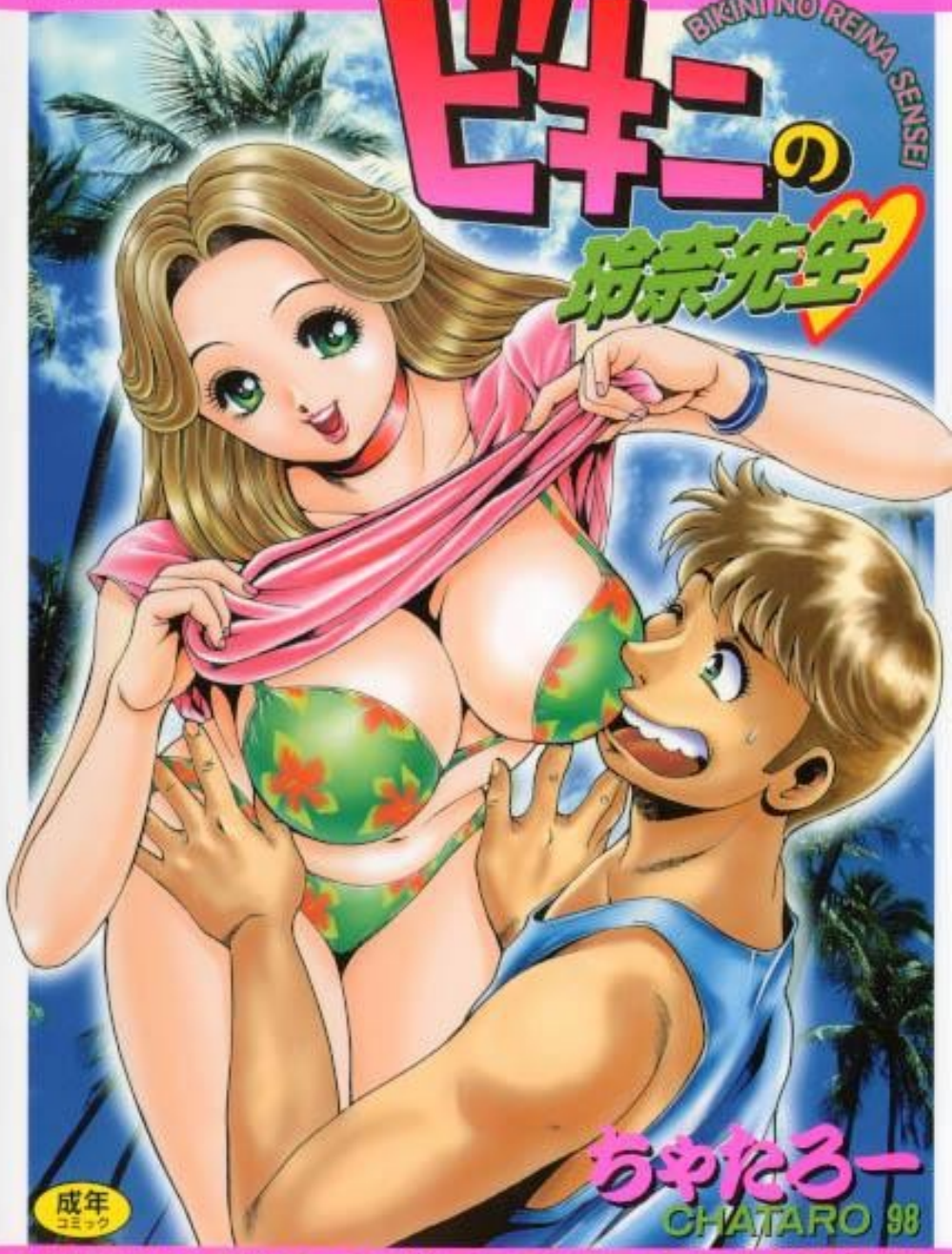
BIKINI NO
REINASENSEI
©1998 CHATARO
PRESENTS

FUJIMI COMICS

BIKINI NO REINA SENSEI

ビキニの玲奈先生



ちゃたろー
CHATARO 98

成年コミック

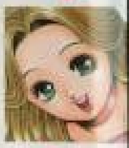
WAKU WAKU! DOKI DOKI!! SEXY COMIC

ビキニの玲奈先生

ちゃたろー

成年コミック

富士美出版



ISBN4-89421-269-2

C9979 ¥800E

9784894212695

1929979008000

定価840円 本体800円

富士美コミックス

富士美出版

雑誌57753-83

BIKINI NO REINASENSEI

©1998 CHATARO PRESENTS

BIKINI NO REINASENSEI
©1998 CHATARO PRESENTS

ちゃたろー

ビキニの玲奈先生♡

[ビキニの玲奈先生♡]

目次

おんな教師……7
ちゃたろーの昔話……207
あとがき……211

ちゃたろー

この『窓』を開けたのは
少し換気をしようと
思ったからなんだ……
はあっ
はあっ
はあっ
シコ
シコ
この『窓』を開けても
特に景色なんてない
なぜならスグ隣りに
マンションが建って
いるから……
この『窓』からまさか
こんな光景を目に
するとは……
ゴソ
メリ
ぷはっ
バサッ

プチッ
お
おおっ…!?
ギンギン
ゴクリ
う…うわっ
やった！
見えたァ♡
真っ白な
巨乳だあ
ハッ
ハッ
ラッキ♡
チ…チクビも
超キレイ♡
ああっ……
たまんない
そのカラダ……
ゴクリ
この状況
……
し…下も
脱ぐのかな？

おんな教師
おッ……
おおっ……
ジロ
ジロ
パンストに手がかかった……
スル…
スス…
よ よしっ
イケっイケっ
すっ…すげー!
おろしてく
おろしてく……

スル…
プリン
はあっ はあっ
はあっ
はあっ
そっ…… そして次は いよいよ……
ジュ
ジュ
ジュ
よ…… よしッ
次は パンティーだっ
ス…
あ……
ドキ
ドキ
スル…
ああっ
ドキ
おッ
おおお〜〜〜ッ♡

ほっ
ウほほォ〜〜〜♡
ギン
ギン
み……見ちゃった♡
見えちゃったあ〜〜〜♡
おっとォ
はあっ はあっ
ジロ
ジロ
ジロ
はあっ はあっ
はあっ
はあっ
プルン
はあっ はあっ
あ……で出るッ!!
つふッ……
ドクッ
ドプッ
ビュッ ビュル・ビュル
んくっ……
くッ

…くはっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
僕の名は
山田文宏……
来年には
大学受験を迎える
トシになる
ゴロン
——朝から
あんまり成績のコト
言いたくないけど……
ちょっとイイとは
言えないわね
最近——
ん——？
ズズ…
行きたい大学
あるんでしょ？
もう少し
なんとか
しないと……
…別に
まだ平気
じゃない？
時期が来たら
なんとか
しますよ
またあ
いいのー？
そんなで
そんなノーテンキ
だから母さん
心配すんじゃない
やっぱり塾とか
家庭教師考えても
いいんじゃない？
わ——っ
やめてよね——
そーゆー発想
……
トン

塾や
家庭教師か
……

カチ
カチ

確かに学校でも
自分から意欲的に
勉強なんて
したことはない——

「寸前にならないと
行動しないタイプ」

「やらされて
初めてするタイプ」

こんな性格の僕には
やっぱり習い事は
向いてる……

周りにも受験に
向けて何かしら
しはじめる友達が
ボツボツ増えてきた

正直
アセる！

ワワ

！

——でもやっぱり
僕も多感な年ごろ
ほかに目がいく——

あはっ

あはは

特に『女の子』
とか……

……いいな 女の子と
あんなにベタベタ
できて……

「行動しないタイプ」の
僕にはあんなコト
できるのは遠い話
だろーな……

カラ…

あれっ？

電気消えてる

ま そんな続けて何回見れるワケないよな――

タベは運がよかったってワケね

留守なのかな…

いや――でもホントタベはよかったよなあ～～～♡

ほわあ～♡

超色っぽいカラダしててさあ～～～♡

いかにも『おねーさん』て感じのヒトだったけど…トシはいくつなんだろ……

この辺じゃ今まで見かけなかったけど…最近引っ越してきたのかな？

しかもものスゴイ巨乳であれはもう……

『もんで♡』と言わんばかりだよなあ

こう……手を伸ばしてエ……

触ってみたいなあ～～～♡

これはあくまでも僕の想像だから——でも まァたぶん……

『プニュッ』ってやわらかくって

あ…♡

『スベッ』とした肌でぇ……

僕の手のひらよりほんのりあったかくて……

強めにもんでもはね返してくれるようにハリもあってぇ……

は——っいいなぁ♡

大きさはそう……E…Fカップ——もっとかなぁ

やっぱりパンスト♡

大きいだけじゃなく感度もよかったりして……

もむだけで息もちょっぴり早くなって……

…あっ

あン……

…はっ

ホホもほんのり赤らめてサ……

あ

あ

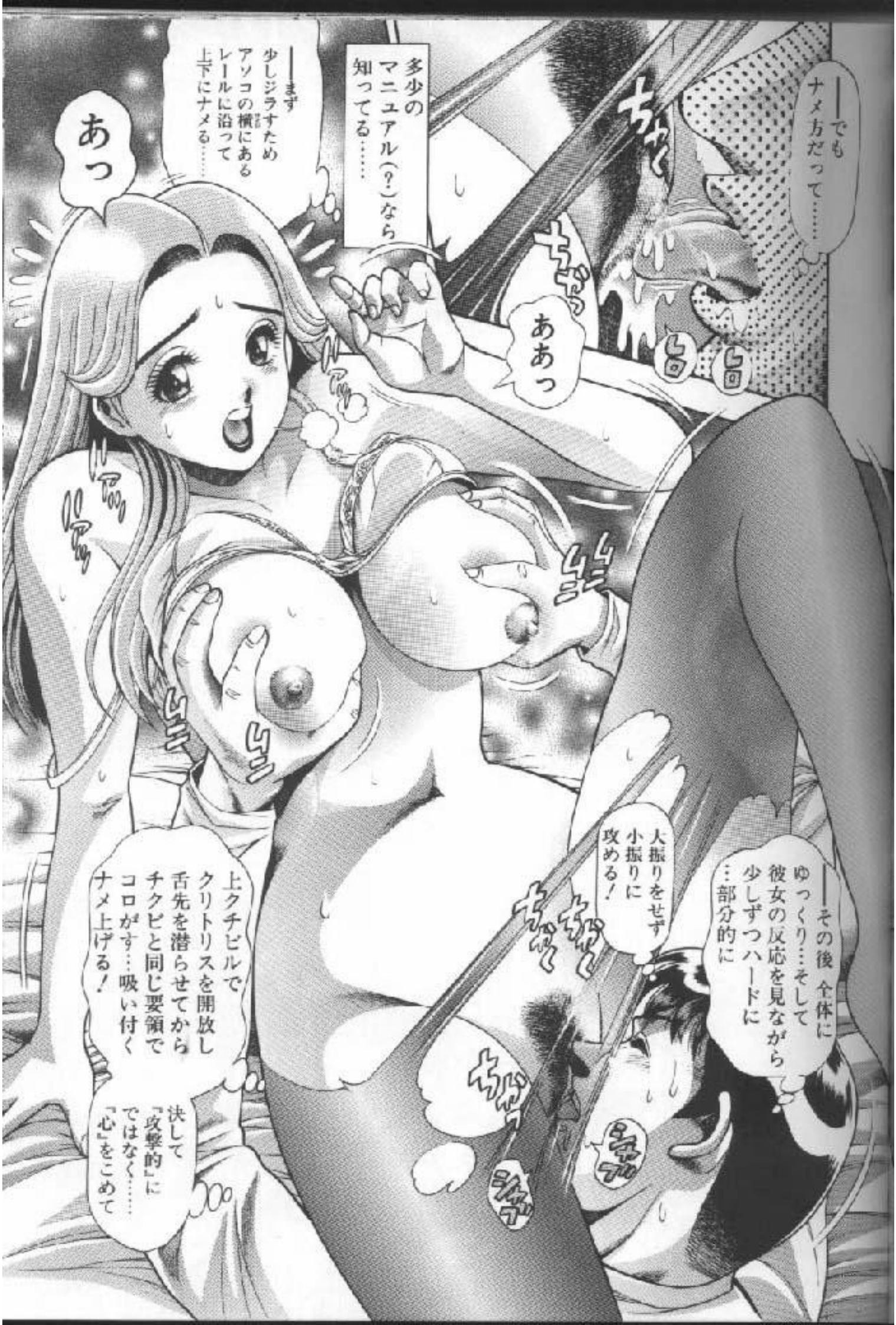
これをもー
つまんじゃったり
したら……
タイヘンな
ワケでぇ♡
ボッ
あっ
あぁっ
ぽっ
やっ……
あぁっ
あ
はぁあっ
……
あっ
あっ
いや……
ピクン
ピクン

ギュッ
ギュッ
ああっ
…あっ
あっ
あっ
あ
ビクッ
あっ……
あっ
乳首の色は
もちろんピンク……
サイズは小粒……
小粒ながらも
弾力があってェ
……
イジるたびに
さらにカタく
なる……
……
はあ
はあ
はあ
はあ
次にクチに
含み舌で
味わう……
まず乳首の周りを
ゆっくり一周した
後……
カルく
コロがす……
テロ
テロ

——そして
クチビルで挟み込み
舌先を乳首に当てる
……
つつくように
当てる
当てる！
はあ
あっ
モグモグ
モミ
モミ
あっ
ああっ
はあ
ムチムチとした
太ももの間に
手を潜らせると
……
パンスト越しに
うっすら濡れた
彼女のパンティーが
……
——たまに
強く吸う！
カルめに
かむ……
あっ
チュウ〜
…ああっ
たまんないっ
本当にしたいよ
あっ
そして
下の方……

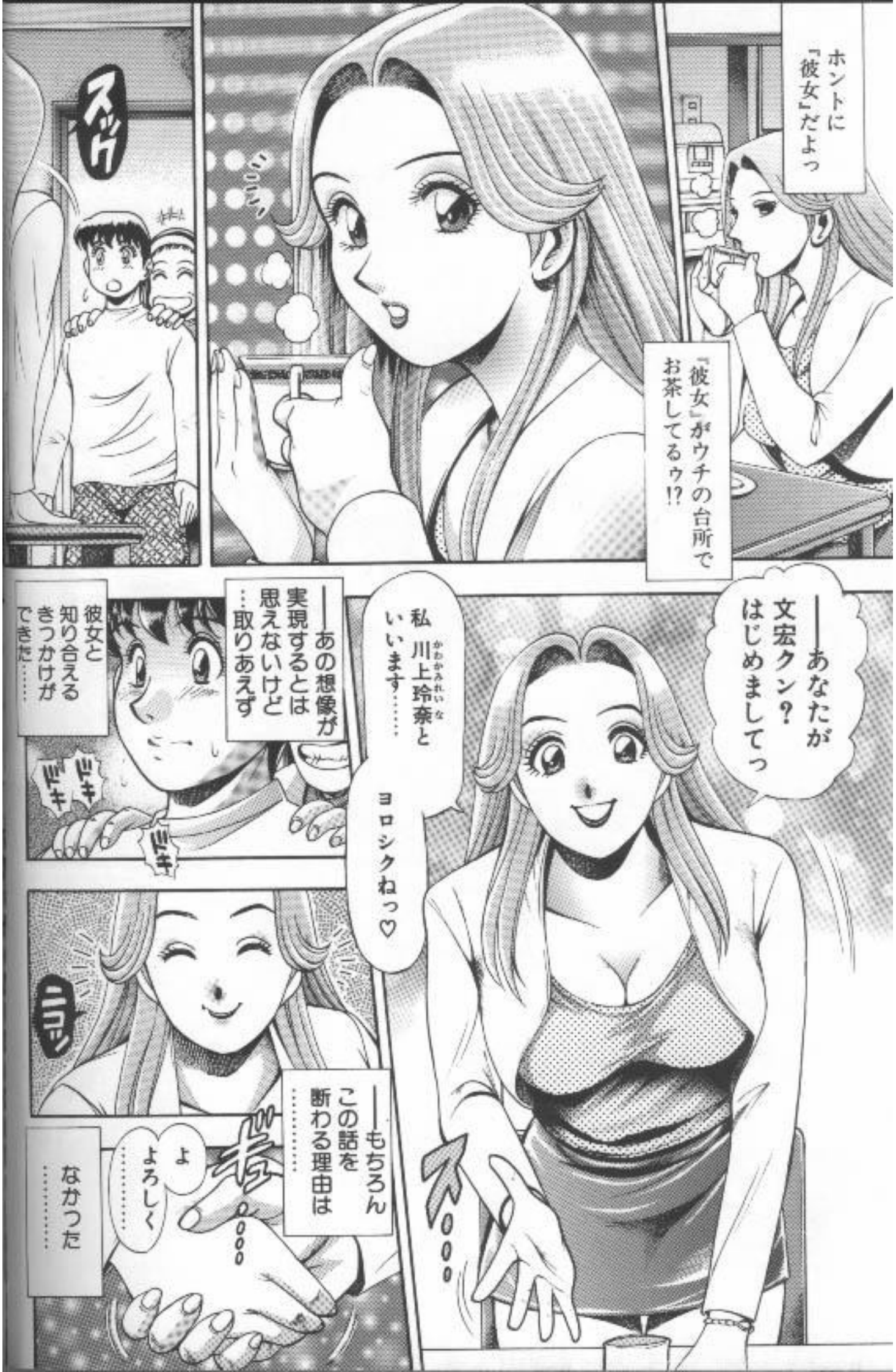
そして…このパンティーの中には彼女の……
彼女のアソコが
夕べ見た彼女のアソコが……
い…いいんだこれは僕の想像なワケだから……
た……たとえ
パンストが「ビリッ」なんて引き裂いても……
ああっ……見たいっやぶいちゃえっ！
パンティーもっ……
——とココで彼女の軽い抵抗……
そしてこのパンティーの中には……
オモチのようにまあるくやわらかいモノが……と思わせるこの感触♡
あっ
はぁ
はぁ
あっ……ダメそこ……
ぷっくらしてカワイイ♡
やんっ

そしてソコにはキレイなサーモンピンクのアソコが……
えっちぐっつ
——と言っても正直カタチや色なんて僕にはイマイチ想像がつかない……
なにせ経験がないもので……
比べたくとも比べられない……
——でも彼女のだったらどんなカンジでもいーな♡
チクビもキレーだったからココもきっと……
こーやってスミズミまでナメ回しちゃうっ！
あン
ズキュ
ズリュリュリュ……


——でもナメ方だって……
多少のマニュアル(?)なら知ってる……
——まず少しジラすためアソコの横にあるレールに沿って上下にナメる……
あっ
ああっ
ちゃ
ちゃぴ
——その後 全体にゆっくり…そして彼女の反応を見ながら少しずつハードに…部分的に
大振りをせず小振りに攻める！
上クチビルでクリトリスを開放し舌先を潜らせてからチクビと同じ要領でコロがす…吸い付くナメ上げる！
決して「攻撃的」にではなく……「心」をこめて

スカ
スカ
……
パチ
ああ……
やっぱりなんか
ムナシィよなー
ハアー
ホントにそんな
えっちなコト
してみたいよ
な――っ
でもソレって
かなわぬ夢
だろーし……
立たせるだけ
ムダ…
ずかっ
――ええいっ
こーなったら
彼女に似た女の子の
エロ本探して……
二夜連続
オナニーだっ！
ゴソ
ゴソ
その後少し
勉強しよっと
！
トントン
トントン
ひっ
いとうしいな
エロ
ドキ
――？
あ……
あわわっ
文宏いるん
でしょ――
ねぇ――
「お客さん」なのー
ちょ ちょっと
待って――！
入っちゃ
ダメだよ
――お客？
もう夜だとゆーのに？
もういいよ
母さん
にま♡

お客さんて……
わ!?
わわ…ちょ ちょっとナニ 母さんっ!?
聞けばあなたの 希望する大学の 大学院生だって ゆーじゃないっ
ドタ
ドタ
ドタ
ドタ
――最近 隣りに越して きた方があいさつに 来られてね――
勉強家って コトでしょ? ソレって
ダメモトで 『家庭教師』の件 お願いしてみたらァ
快く OKしてくれた もんだから……
はやくっ
はやくっ
えっ…… ええっ なにソレ!?
ま またあ ズルイよっ 僕になんの相談も なく…!
いいのっ こーゆうのは 『先手必勝』 よっ♡
いいから 会ってみて!
すっごい 美人なヒト だからァ♡
えっ!? 「美人」?
隣りの マンション?
えっ
えっ
ドタ
ドタ
ま
まさかっ まさかあ…!?
う!?
ウ…ウソでしょ? こんなの…… ホ ホントにっ
「彼女」?


ホントに
「彼女」だよっ
スッ
「彼女」がウチの台所で
お茶してるゥ!?
——あなたが
文宏クン？
はじめましてっ
私 川上玲奈(かわかみれいな)と
いいます……
ヨロシクねっ♡
——あの想像が
実現するとは
思えないけど
…取りあえず
彼女と
知り合える
きっかけが
できた……
ドキ
ドキ
ドキ
ニコッ
——もちろん
この話を
断わる理由は
……
よ
よろしく
……
なかった
……

二日後――
文宏――
文宏――先生いらしたわよ――
わわっきたきたっ
ついにきたっ♡
FUMIHIRO'S ROOM
あ……
――なんか「男のコ」ってカンジの部屋ね――
本がたくさんあって…飾り気がなくて――
そーすかっ?
ちゃんと整理整頓してるんだ
キレイにしてるネ!
大掃除したんですよ…先生が来る日だからァ
そ
それにしても……うは〜〜〜っ
せ 先生なんて……
ソソるカッコウで……
ウレシィけど
胸のふくらみバッチリのタンクトップに……
オシリスレスレの超ミニスカ!
ボイン
ス…
少しかがむと見えません?ソレって……

おッ……
チラ
チラ
おおお〜〜ッ♡
そ そのミニスカートで普段出掛けたりするんですかあ〜〜〜〜〜?
超色っぽくてグーですけど……
階段とかでパッチリ見られちゃいますよぉ〜〜〜〜っ♡

ウフフ…ホント ちょうどよかったナ
え？
——あのね 私 アルバイト探そうと 思ってたトコ だったの……
隣りの マンション 家賃 前のトコ より高くて……
——ホラ なにせ私 いートシして学生の 身分だから……
これ以上親の スネかじれ ないし…ね
助かっ ちゃった♡
アレ？
——あれ？ 美人独特の気取った イメージの人かなと 思ったら……
そんなでも なさそう……
かえって 人当たりの よさそうな……
カワイイ 感じも……
——彼女の名は 川上玲奈（かわかみれな） 22歳 志望する大学の 理科系を専攻——卒業後も 「大学院生」として さらに勉学に励んでる
——あ でも 安心してね
ニヨ
ニヨ
「家庭教師」 するからには キチンとします ね♡
ガンバッて 成績あげよう
ハイッ
それじゃ 改めまして……
ヨロシクね 文宏クン♡
よ よろしく お願いします
な なんか 楽しくやれそォ♡
——そうだよ 玲奈先生のためにも ちゃんと勉強して 成果を出さなくちゃ……
『えっちな目』で 見るのはホドホドに しとこう……
——さて それじゃ……

——お母様今日は自己紹介程度でいいって言ってくださったけど……
——そうね次の時のために……
何か見せてくれるカナ
は……はいっ
あの……教科書と普段使ってる参考書なら——
ココに……
——あハイ！
どれどれ……
ドキン!!
あ……なんか香水のイイニオイが……
——あっなつかしーな—私もココの参考書使ってた——
ふうーん変わってないんだね——
そんなに……
…ウン大丈夫これならなんとかなりそう
！
おッ♡

…おおっ
スゴイッ
『生の追力』！
な…斜め上から
見下ろすと
タンクトップの
たるみから……
白くって
まんまるい
巨乳がチラリ……
——とゆーより
大きすぎて
ほとんど半バイ？
ドキドキ
もう少し
見えないかな
——っと
少しずつ
後ろへ……
えっ!?
…も
フルン
チラリ
うほほっ♡
マ…マジ？
ノ…ノーブラ
ですかっ
今日は……
ピ…ピンクの
『生乳首』だ♡
ちょ…ちょこっと
見えちゃってます
よお～～～っ♡
この角度から
ノゾくと——
どひゃーっ
スゴイ
スゴイッ！
たまり
ませんっ
触りたいッ

…そ その巨乳を
この手のひらに包み
もみまくりたいっ
――
――きっと
グッドな感触
なんだろーなぁ
『ムニュムニュ』して
……
ああ……
手が伸びてゆく
ひきつけられる
ソォ…
一気に！
ガッ
ぐにゅん
ぐにゅ
ぐにゅ
ご…ご安心を――
もちろんこれは
僕の想像なワケでえ
……
ムニュッ
ムニュッ
――しかし
スグ横に本物が
あるとなると
……
より リアリティーが
増すようで……
イヤでもコーフン
しちゃうっ！

――きっとこれだけのボリュームある胸だから…こうモミモミしてるうちに……
自然に『ポロリ』とハミ出てきちゃったりして……
直接に触る♡
手のひらに『生』の感触が伝わってきてえ……
指先に乳首が触れる……
プリン♡
乳首をつまむ……
最初は優しく……さりげなく……
しかし効果的にはヤラシく……
――そのうち少しずつ力を加えてく……
くにくに指先でもむように……ソフトにソフトに
調子に乗って『痛い！』って言われない程度まで……
イジリ回す……
ギュム
ギュム
ギュッ

—ほどよく
乳首がカタく
立って……
立って……
ぐみ
…ああ
いいなあ——
玲奈先生の後ろに
回って…ホントに
……
はあ
そんなコト
してみたいよ
……
はあ
先生の髪の
イイカオリを
かぎながら
…サ
ぐみ

——そしたらまたモミ直してさらにィ…さらにィ♡
——文宏クン？
文宏クンてば！
…ハイえっ!?
はははいッ！
——？どうかしたの
ヒョコ
ビクッ
ニヤニヤ
モミ
モミ
ガタッ
——なんだかニコニコして……どこかイッちゃってたみたいだけど……
何か考え事かな？
——あっ……いえ…なんでも……すみませんっ！えっ…と何から始めましょうかっ
すっ数学？それとも英文？
ガばっ!!
ふふっ
だからそれは私が聞きたいことでねっ
何が不得意なのかなーって……
そっ…そうですねわりと全科目平均して不得意なトコですが……
それじゃ数学を……
うんそうねっ
基本的なことどのくらいできるのか私も知りたいし……
今どの辺やってるの？
はっ…はいちょ ちょっと待ってくださいっ
！
あれっ
あれっ
…？
もっこし

——どうして今こんなトコ立たせてるのカナ？
ん？
文宏クン！
えッ!?
ドキッ
ギュッ
えっ!?
ドキュッ
ドキュッ
ええ〜〜っ!?
ウ ウソでしょうっ 想像(ユメ)じゃないぞぉ これって…これって
せ…先生が僕のア…アソコをニギってるゥ!?
ニギッ
ニギッて
!?
ドキ
ドキ
い…いやっ そーじゃなくて ココは今言い訳を…！
あ…いや これは…ですねっ あのっ！
えとっ……
あっ わかった！
ハハーン なるほど…… それでね——
——文宏クン あまりしゃべってくれないんだもの …それで
!
ど…… どうしようっ
ニギ
ニギ
ゆ〜っ！
『彼女』のコトでも考えてたのかな
え？

『彼女』って……？
でしょ？
文宏クン カワイイ顔してるから……モテそうよねっ
いっ…いえそっ そんな僕になんか『彼女』なんて……
しっ……しかし……
まさか先生の胸チラでボッキしたなんて言えないしィ……
ココでの言い訳にはソレってスゴくもってこいなワケでぇ……
どっ…どーする
ドキ
『彼女』のこと考えてて……でしょ！
そ……そうです……
あほっ
やっぱりィ♡
あーぁ ウソついちゃった……
はぉ…
…でもソレってあんまりよね
私だっていちおー『女』なんだけどなー
ヨコにいる私を無視して『彼女』のコト考えてこんなにしちゃってるなんて——
わ！
ホント失礼よね——っ
私に魅力ないってコト？
そ そんな違いますよっ……
わ…わわっまだ続くこんな気持ちイイコト……
やっ…ヤバイよ先生にしたらほんのジョーダンだとしても……
こ これ以上されたら…いくら僕でも……僕でも……
ねぇ……
はっ
はっ
ね 文宏クン

私はね……『文宏クンの家庭教師』であると同時に――

仲のいいお友達になりたい――と思ってるの……

いろいろな悩み事を打ち明けられるそんな気軽な『お話し相手』ってゆーか……

もし彼女のコトやほかに相談したいことがあったら言ってね

特に『彼女』のコトだったら…ホラ私も『女』のはしくれだから……

少しは役に立つかも……ねっ！

シャコ

カタ

カタ

シャコ

シャコ

はあっ はあっ

はあっ はあっ

グニ

グニ

……実はね

前に私の好きだった人が先……

はっ！

ヤダもう何言おうとしてるのっ私ったら……

――え？あら…やっゴメンなさいっ

つっ…つい心地よくて触り続けちゃったわ！

キャッ

カっ！

ダ……
ダメだよ……
やめちゃ……
な なんか
僕…今
スゴく……
か 感じちゃって
…あ あの
?
え?
こ…こんな気分に
なっちゃったの……
先生のせいだよね
「これから勉強」って
時にヘンなコト
考えてた僕も悪いと
思うけど……
あ…スゴイ
今の僕…「大胆」に
なってる——
あ…ゴ ゴメン
なさいっ 文宏クン
……
——でも
ホラ勉強も
あるし……
そろそろ
…ねっ!
ぼ…僕の「彼女」
とゆーのもエッチな方
とかちっともさせて
くれなくて……
そのせいにすると
ズルイけど……
勉強にも身が
入らないのも
事実で……
あ…またウソ
ついちゃった——
これが僕の
「悩み」だったり
して……
……
ビキン
ビキン
あ あんなフイに
つかまれてしばらく
触られたりしたら
……
だれだって……
でしょ?
ぼよ
ぼよ

わ……
わかりました
悪いのは
私だものね……
どうすれば
いいのカナ？
な…なんとなく
思いがけなくラッキーな
方向に転がり始めた
気が……
優しい玲奈先生の
弱いトコにつけこんで
——少し心が痛む
けど……
そのかわり
あまり調子に乗らず
イヤがるコトは
しないようにしよう
もじ
もじ
グッ
ぎた♡
——それじゃあ
まず…先生は
僕のを触ったから
……
僕は
先生のを……
——って
のは……
えっ？
触るのって
ダラ？
フー
フー
ビキン
ビキン
「私に」
なの？
……
「私が」じゃ
なくて？
少しだけよ
……
ハム
ハム

オス
オス
あ…あれ
ホントにいいの？
——ええっ!?
プルン
「少しだけ」って
言っても…なんと
先生のクチから
……
触ってもいいって
「OK」が……
信じられない
ワク
ワク
ムズ
ムズ
ギン
ギン
「OK」が
出たぁ！
そ…それでは
先生の気が
変わらないうちに……
では
では
さ……
触りますっ
は
はい……
ズズ…
お……
おおっ
やっ
やっぱりィ
やっぱり
デカイよ
なぁ～～～♡

あ…ああっ
いよいよ現実に
なるっ……

全く
思いがけもしなかった
幸運だけど……
――でも

想像(ユメ)じゃなく
先生の本物の白い
巨乳にホントに……

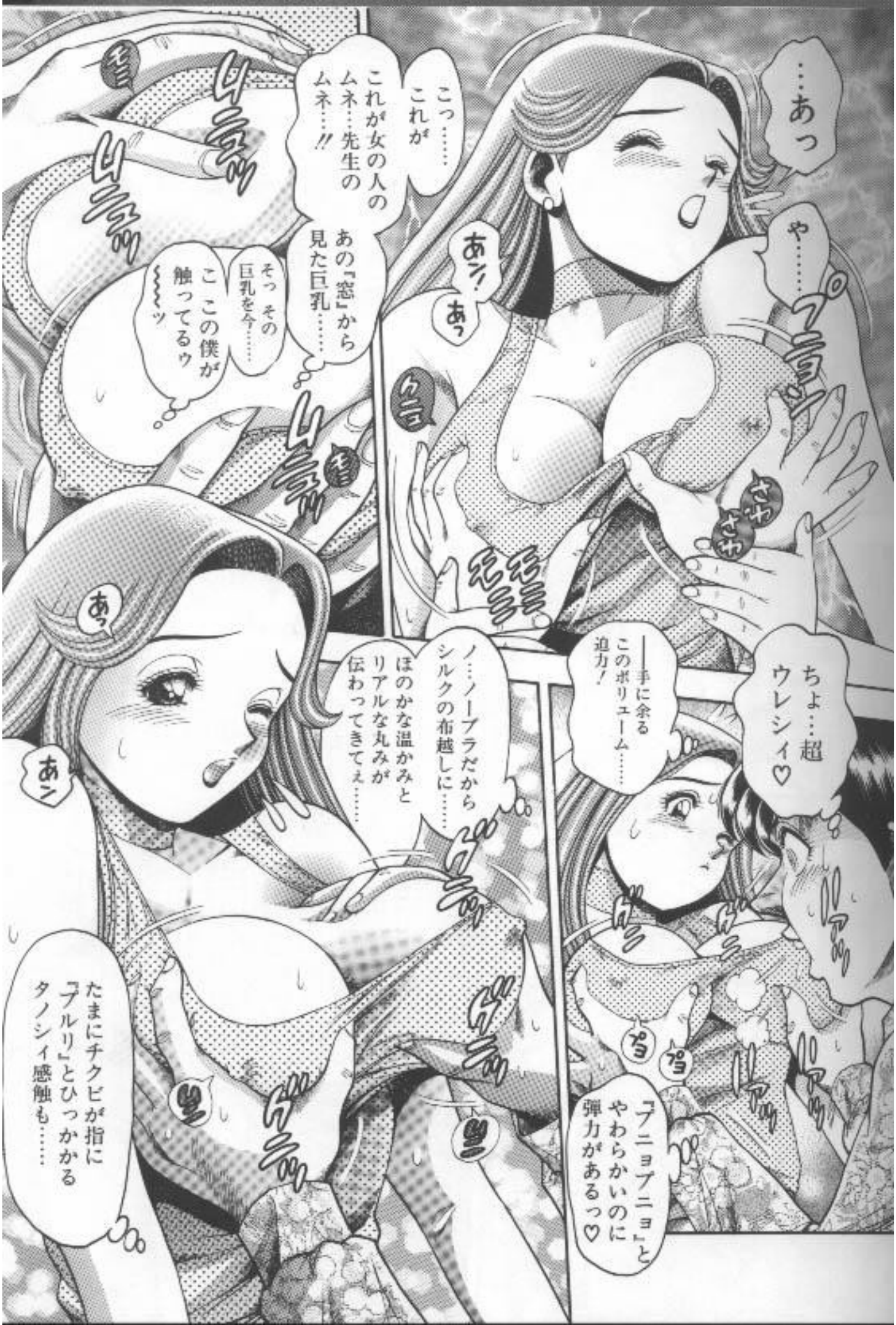
『タッチ』
できるゥ〜〜♡

……
あっ

――
あっ……

おッ

おおおゥ
〜〜〜♡



…あっ
や……
プニョン
さわ さわ
あン! あっ
クニュ
モミ モミ
こっ……これが
これが女の人のムネ…先生のムネ…!!
あの『窓』から見た巨乳……
そっ その巨乳を今……
こ この僕が触ってるゥ〜〜〜ッ
モミ
ムニュッ
ムニュッ
ムニュッ
モミ
ちょ…超ウレシィ♡
——手に余るこのボリューム……迫力!
ハァッ
ハァッ
ハァッ
ハァッ
プヨ
プヨ
『プニョプニョ』とやわらかいのに弾力があるっ♡
ノ…ノーブラだからシルクの布越しに……
ほのかな温かみとリアルな丸みが伝わってきてぇ……
あっ
あン
グニッ
グニッ
グニッ
たまにチクビが指に『プルリ』とひっかかるタノシィ感触も……

想像以上のもみ心地
ドキドキしちゃうウ
〜〜〜〜っ！
——ああっ
ス スゴイ♡
と とにかく
巨乳……
あ……
いいっ
いいよオ
なま
あの……
あ……
そ そんな
そ そんなに
上下に
したら……
服がズレて
——ハミ出し
ちゃう……
…私 今日
下着つけて
ないし……
その……
チラ

——あっ
ま
ま 待って 文宏クン……
プニュッ
あっ……ダメ…胸が出ちゃうから……
ポロッ♡
おひょ——♡ やっぱり出たか 生パイ！ 生チクビ!!
ああん 文宏クン 聞いてないの——っ
ダメなのに——っ
直接だとさらにふんわり♡
やわらかっ♡
そ…そんなに触られたら…あっ
私……
待って…… 文宏クン
あン
も…もうおしまいに……

…あ
ヤ…ヤバイよ
なんかヤバイ……
なんか
もう……
自分を
抑えきれない
カンジ……
ニニ
ぺろ
えっ？
ふ……
文宏クン？
はあ
はあ
ニニ
あ…ちょっと
ナニ？
文宏クン？
ぐぐぐ…
はあ
はあ
あ……
ダメ！
もうやめて
…あン
ねっ
あッ！
ゴリ
ゴリ

そ……
そんな
あっ
口で……
なんて……
あっ
はぁ
やだ
文宏クン……
私……
はぁ
はぁ
はぁ
こ……こんなコト
なかったから……
あっ
はぁ
はぁ
あっ……
ああっ……
あっ

…ここ数年
男の人にカラダを
触られたコトなんて
なかった…から
……
だから
…あっ
はあ
はあ
あっ
弱いの……
ダメェ…！
ちゅ
ぢゅぷ…

あっ……
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ああ……
もう しないの…あっ
ね ねえ……文宏クン
ピクン ピクン
私 こんなことしに来たんじゃ……
あっ……
あっ
あっ
ああっ……いや……
ああっ……

あ……ダメェ……
あっ
あっ
ダメ……
こ…これ以上されたら……
べ…勉強どころじゃなくなっちゃう……
はあ
はあ
！
……
ハァッ
ハァッ
ムロ
――それって
先生も少しは感じてきてくれてる――ってコト…かな？
んっ
んう……
はあ
はあ
スル…
！
ムグ
ムグ
はあ
はあ
ぐにっ
ツ……
ツツ……
ムニ
ムニ

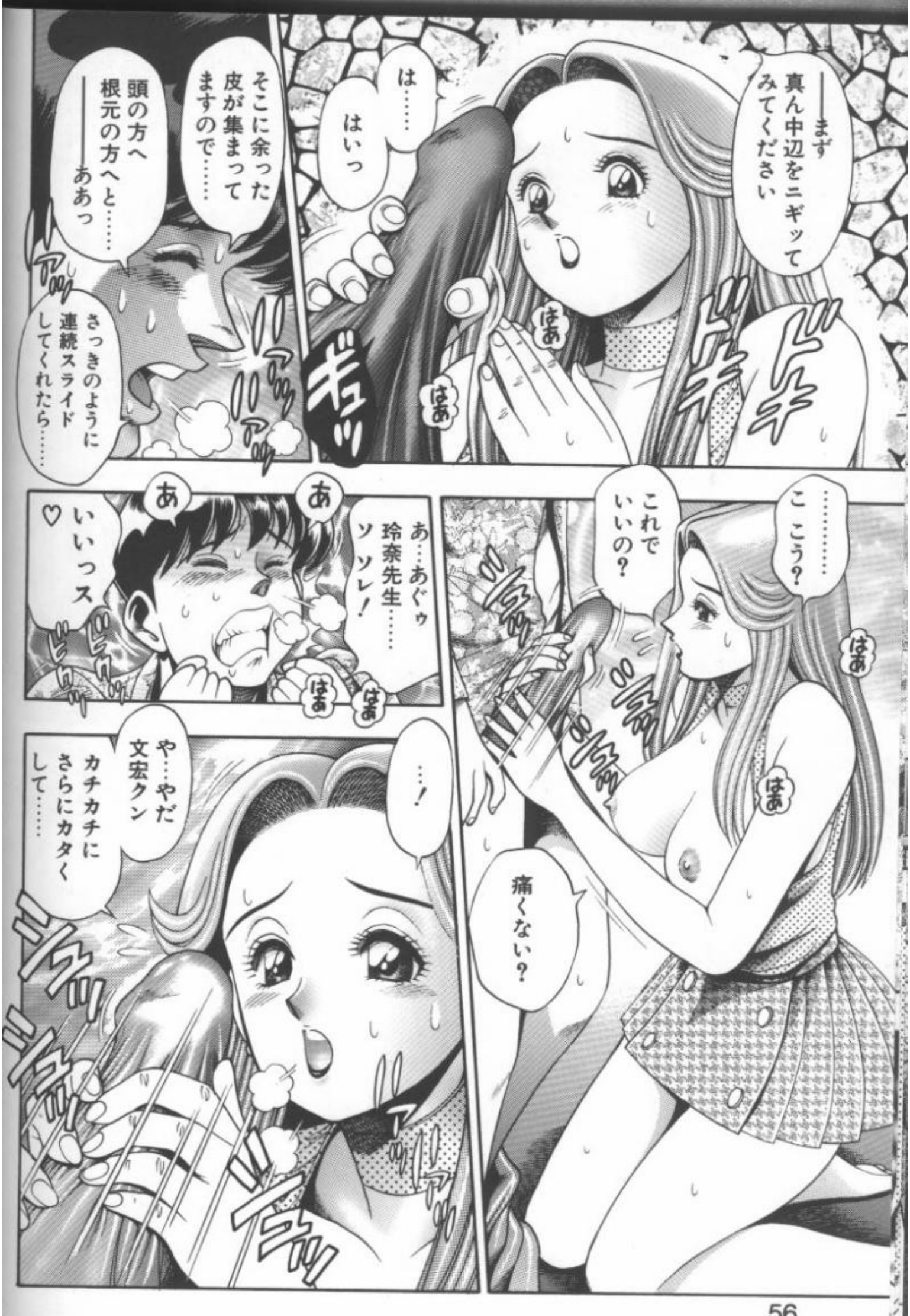
あ……
ナニ…？
この手
ふ
文宏クン！
やだ……
やらしい
この手……
ダ……
ダメ……
ズルイよ
こんなに……
私ここまで
してない……
ムニュッ
ムニュッ
ムニュッ
ガニッ
ガニッ
ガニッ
ガニッ
ガニッ
あン
ダメ……
ダメ
だってば……

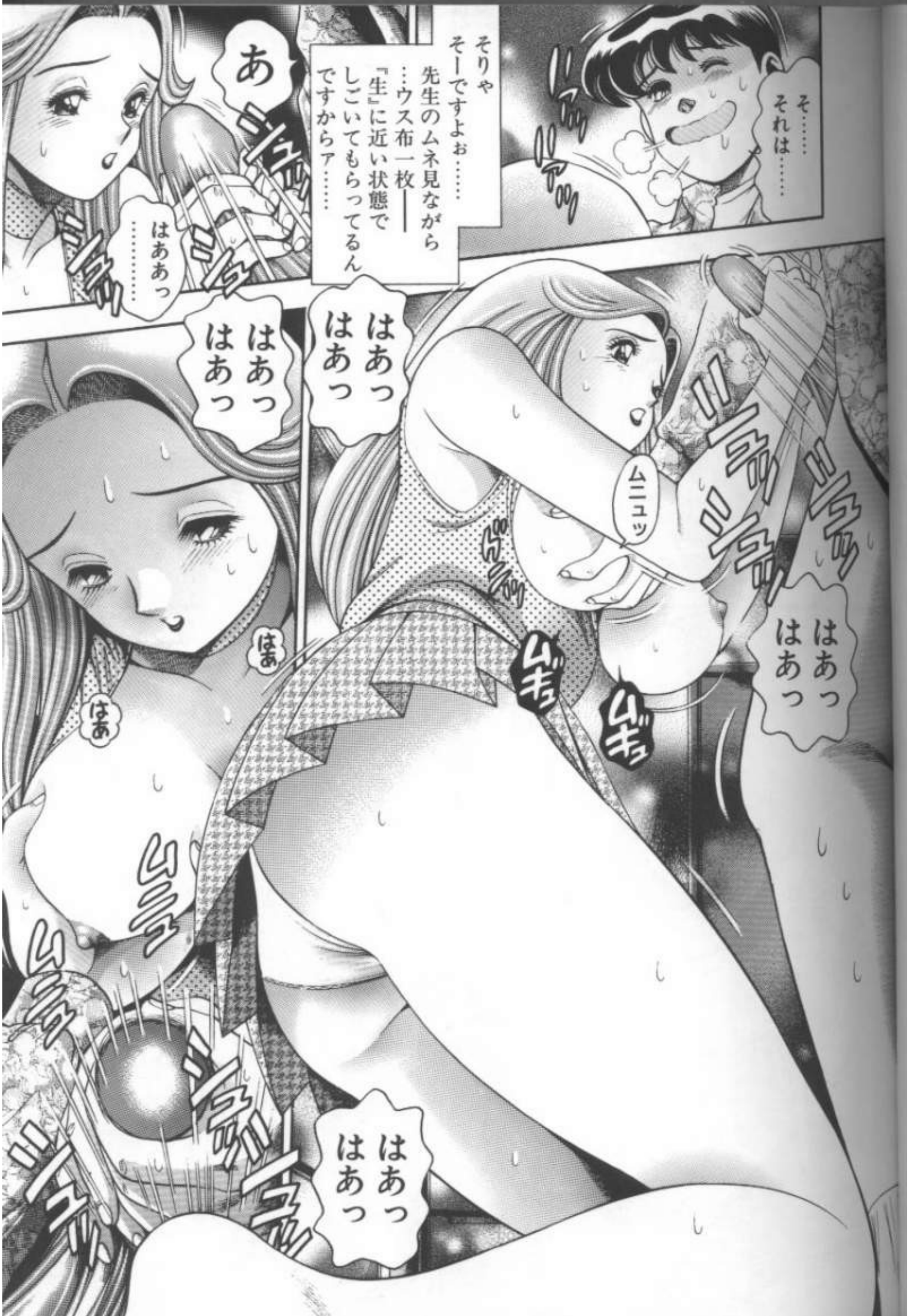
あ……
そ その指ダメ
——やんっ！
ああっ
……
はあ
はあ
はあ
はあ
奥に
行きすぎ…て
ピチュ
ピチュ
そ そこは
……
あっ
ヌメヌメ
い……
いやっ
ふ…文宏クン
てば…！
あっ
あっ
はあ
はあ
!?

はあ
ドキ
ドキ
はあ
え…？
あ あれ
今なんか
……
指先に『ヒタッ』と
冷たい感覚が
…これは？
や……
やっぱり
ぬ 濡れてる？
先生の
パンティーが……
ツプ…
ぐしゅ
指が沈み込むほど
ぐっしょり
濡れて……
…という
ことは……
『感じてる!?』
――先生が？
あっ
あっ
はあ
はあ
モミ
モミ
くにっ
くにっ
僕に触られて
感じてくれてる…!!
先生が特別
感じやすいのか
…それとも
はあ
はあ
ま…よくは
わからないけど……
――これって……
クチでゆーほど
『イヤじゃない』って
コト？
――今まで
僕が一方的に…って
カンジだったけど
ア…
はあ
はあ
そーじゃなくて
先生も……
――
だったら
……

—ズルイ？
ズルイって
言ったよね
…さっき
え？
それじゃ
ズルくないように
先生も……
僕のを
…ねっ
グイッ
えっ!?
ギュウッ
あ…あの
ちょっと……
そーゆう意味
じゃ……
せ……
先生
あ
はあ
はあ
あの……
わ……
わかります？
さっきよりもまして
熱く…カタく
なってるのが……
パンパンに
はち切れそうで
もう…どうにも
おさまりそうも
ないカンジ……
はあ
はあ
ですから……
ムリに『最後まで』
—なんて
いいません…から
…ですから
…せめて
こ……
これを今
しずめたい
……
ビクン
ビクン

…え
で…でも
しずめるって
そんなこと……
私に
できるか
どーか……
！
はあ
はあ
ぜ 絶対
できますよォ
――！
さっきみたく
してくだされば
いいんですからァ♡
――
ですが……
ズボンの
上からじゃ今一つ
伝わりづらいんで
……
カチャ
パンツの
上からなら……
きっと…ねっ
いいでしょ
……
ドキッ
え
スル…
カチャ
こ…こんなに
なっちゃってるのを
しずめろっていうの
？
いやん
大きい……
ビクン
ビクン
ど
どうしよう……


——まず真ん中辺をニギッてみてください
はあ
はあ
ドキドキ
は……
はいっ
そこに余った皮が集まってますので……
頭の方へ根元の方へと……
——ああっ
ボッ
さっきのように連続スライドしてくれたら……
……こ こう？
これでいいの？
はあ
はあ
痛くない？
あ…あぐぅ玲奈先生……ソソレ！
あ
あ
はあ
はあ
いいっス♡
…！
や…やだ文宏クンカチカチにさらにカタくして……


そ……
それは……
そりゃ
そーですよぉ……
先生のムネ見ながら
…ウス布一枚——
『生』に近い状態で
しごいてもらってるん
ですからァ……
あ
はあああっ
……
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
ムニュッ
ムギュ
ムギュ
はあ
はあ
はあっ
はあっ

はああっ…あっ
はっ
はっ はっ
はっ はっ
はっ
あ…あの先生スゴクいっ…いい！
あ
で ですが……
！
も…も もう立ってられな……
グニ グニ
グニ
ベ……ベッドで……
…ね？先生っ……
…え
お願い……せ 先生…ホラ
早く……早くっ
は……はい
…なんか段々深みにはまっていってるような……
これって……
気のせいカナ文宏クン
そーですそーですって♡

それじゃ先生！
僕が仰向けに
なりますから……
続きをお願いします
先生は
オシリこっち！
え？
オシリ
…って
え？
これで
いいの？
おッ
や……
やった！
おお～～っ
こ こんな
間近で先生の
パンティー…！
『スベッ』とした
シルクタッチの
感触…純白
パンティーが
まぶしいっ……
くる
ガッ
さわ
さわ
ちょ 超タノシイ！
コーフンするゥ
～～～～ッ!!

あッ
ま……また
あっ
ハァッ
ハァッ
シュッ
シュッ
ムニッ
ムニッ
やだ……文宏クン
はぁ
プニ
プニ
はぁ
だ……だから……
あっ
ビクッ
ビクッ
プニ
プニ
そこはダメって……
ギュッ
ギュッ
あっ……
ああっ……
ムニュ
ムニュ
グニ
グニ

プニ
プニ
プニ
ビクン
ビクン
あっ……
ダメ……
あっ
ふ 文宏クン
…あっ
あっ
ギュッ
ギュッ
あっ……
あああっ……
あっ
あっ
はあ
はあ
はあ
はあ
ダメじゃないでしょ
先生ったら……
だってホラ
ぐしょぐしょ
……
先生のココ
こんなにびっしょり
濡れてる……
ダメ……
文宏クン
——あっ！
それに
だれが見たって
先生のその反応——
『感じてる』としか
思えないよ
——だから……
はっ
はあっ
はあっ
——だから
僕がもう少し
調子に乗っても
……
ねぇ
先生
またいで……

――――？
またぐって
顔の上に
…？
はあ
そ……
そうです
……
はあ
はあ
おッ
バサッ
！

すすごいウソみたいっ
ドキンドキン
「ダメッ」て絶対言われると思ってたのに……
『より触られやすくなる』んですよ いいの？
ドキン
はあ
はあ
『いい』ってコトで理解しますよ……この真下からの超ローアングル……
——では
はあ
はあ
思わず手が伸びちゃう…♡
あっ
ピクン
あっ
あっ
あっ
あ
グッ!

……
ああっ
はあ
ピクン
ピクン
あ
あっ……
はあ
ああっ……
たまんない
この感触……
ムニ
ムニ
パンティーの
上からでもわかる
豊かなふくらみ
…丸み
プニュプニュした
感触はやっぱり
オモチみたい……
直接触れて
みたいけど……
でも……
怒るかな？
…そー
いえば……
チラ
この体勢って
先生から何も
見えないよな……
だったら
――
もう少し
近づいて
何かしても……
わからない
ハズ……
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあ

ああっ……スゴイアップ
ここの中には先生のアソコが……
玲奈先生のアソコが……
このパンティーを『ピラリ』とめくれば…先生の
アソコが……
ドキドキ
ドキ
ドキドキ
き……気づかれないように……そーっと
そーっと……
はっ
はっ
はっ
ドキドキ
むっ……
ドキドキ
おッ……
おおお〜〜ッ♡

かっ……感動っ♡

こっ…これが先生のアソコ…アソコ！

ブニ

ブニ

しっとり濡れてヒダのピンク色がつややかに強調されてて……

超キレイ！

ヘアーから石ケンのニオイがうっすらして……

……くううっ

コ コーフンするゥ！ナメたいっ

チョン

チョン

ナメたいっ!!

…!?

ドキッ

はあ

はあ

え…？

んむっ

ちゅくっ

はあ

はあ

プチュ

あっ!?

ビクン!!

ちゅぷちゅぷ
——え？
？
？
ふ……文宏クン？
あ……あの
はあ
はあ
はあ
はあ
直接何かしてるの？
はあ
はあ
ぺちょぺちょ
ちゅぷ
ちゅぷ
ヤダ……違う？
ああっ
な なんだかおかしいよ……さっきと違うもの……
ダ ダメよめくってなんかしたりしちゃ……
あっ
や…？いやんっ
あっ
ちゅぷちゅぷ
ちゅぷちゅぷ
はあ
はあ
ギュッ
ギュッ

ナ…ナメちゃった
玲奈先生の
アソコ♡

と…特に味は
しないけど……
この『ツルン』とした
舌ごたえ……

さっ……
最高！

『プクリ』とした
ヒダと小粒な
クリトリスが……

僕のクチの中で
踊ってるゥ〜♡

ああっ

はあ

はあ

ピチャッ

ピチャッ

ビクッ

ビクッ

あっ！

ペロン
ペロン

ベロベロ

はあ

はあ

ギュッ

ギュッ

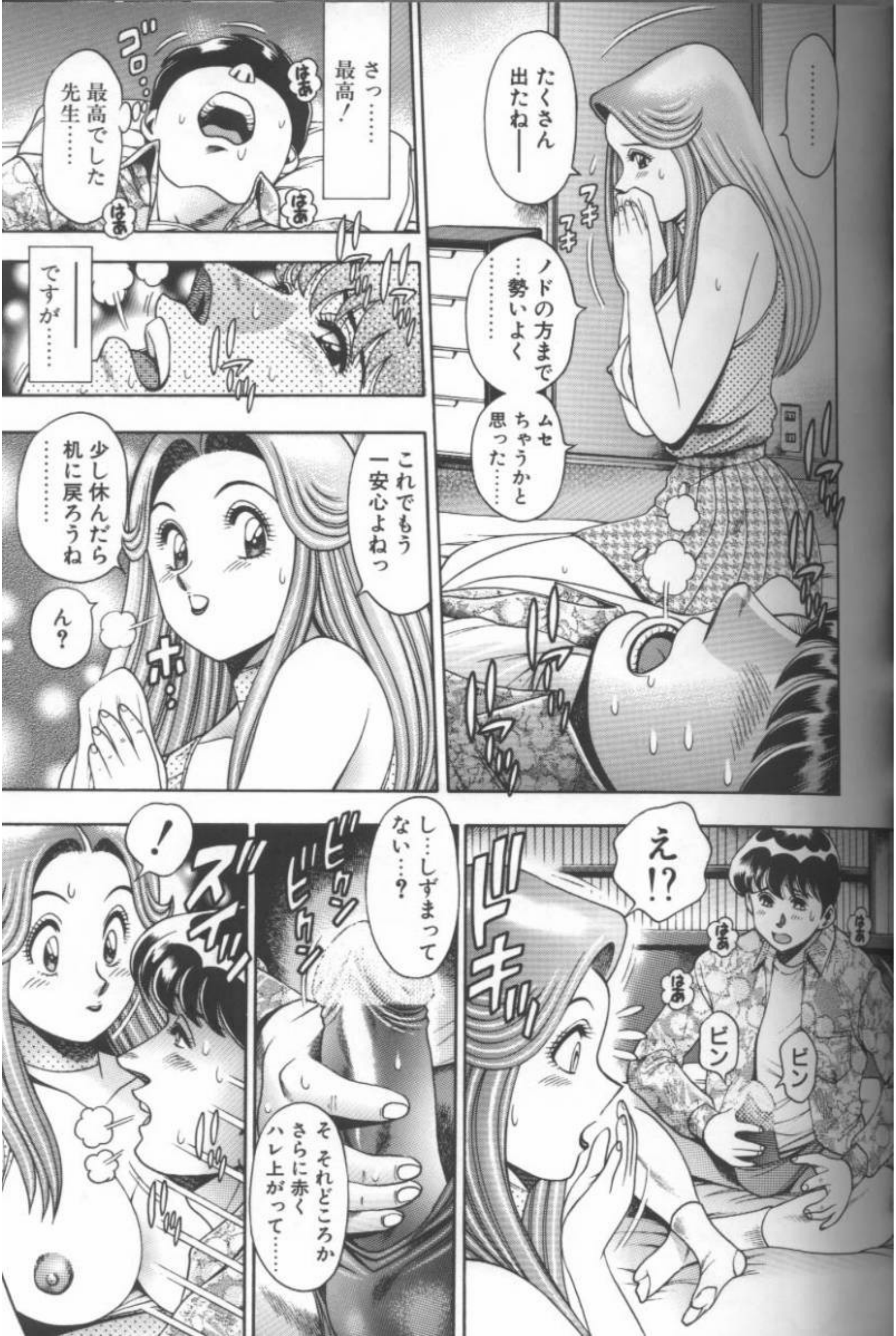
ググ…

うひゃ～～～っ
いいっ♡
はあ
はあ
超――
幸せ♡
ベロ
ベロ
ベロ
ベロ
あっ
ダ…ダメ
このままじゃ
……
私の方がヘンに
なっちゃう……
あっ
あっ
は早く
文宏クンの方を
終わらせて
…ココを
ギュッ
シコッ
シコッ
しずめないと
……
シコッ
――でも
手だけじゃ
なかなか終わらない
みたいだし……
この場合……
やっぱり
おクチで？
ポッ
――でも
これから勉強を
教えようって
子に……
スル…
い……
いいのかしら
こんな
コト……
!!
ビクッ
ビクン

え!?
ドキッ
パクッ
ええっ!?
フェ…フェラチオ〜〜〜〜ッ!?
おおっ
ま まさか先生の方からススんで……
ナメてくれるんですかァ〜ッ!?
あっ……
あのォ——
いいんですか先生…そんなコト……
——えっ?
ええ……
だから早く終わらそう…ねっ
ぢゅぽ
ぢゅ
ジュプ
は…はいっ
——ウウッ
んくっ
くふうぅ〜〜〜〜ッ

こっ…これがフェラチオなんて気持ちイイッ！
ヌルリヌルリと先生のクチビルが……
僕のアソコを包み込む……
チャブッチャブッ
チャブッチャブッ
ああっ…先生イキそう…です
出ちゃう……
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
あっ
ス スゴイ！これじゃスグに……
イ…イッちゃうよ…イク
イク……
ああっ……
も もうダメ…出る
ピクッ
ピクッ
……
ジュプッ
ジュプッ
ジュプッ
フッ
フッ
あっ
ああっ……
ビクッ
ゾクッ
ビュルッ
！
ンッ

あっ
ああああ〜〜〜っ!!
んっ
ビュルッ
んうっ
ビュウ
ビュッ
ドクッ
ドオウ…
うぷ……
ポン
ビュッ
ビクッ
やっ……まだ出るの?
きゃっ
——かはっ
はあっ はあっ
はあっ はあっ
……
フゥ…


……
たくさん出たね——
フキフキ
ノドの方まで…勢いよく……
ムセちゃうかと思った……
さっ……最高！
ゴロ…
はあ
はあ
はあ
最高でした先生……
——ですが……
これでもう一安心よねっ
ポ…
少し休んだら机に戻ろうね……
ん？
え!?
ドキ
はあ
はあ
はあ
ビン
ビン
し…しずまってない…？
ビクン
ビクン
そ それどころかさらに赤くハレ上がって……
ズイ
！

きゃっ!?
ギシッ
え…!?
あ あの文宏クン?
なに?
はあ
はあ
お……重いよ?
せ…先生 あの さっき 僕……
はあ
はあ
え?
「ムリに最後まで しない」って 言いましたよね……
ええ……

て…撤回させてください
僕…今モーレツに先生とシタい……
ホ ホラそーゆーことはいつか『彼女』とのお楽しみに……
あっ
ダメ……
ゴ ゴメンなさい先生…それウソなんです
えっ!?
ダ…ダメよそんなのっ……
え?
僕に『彼女』なんていません……ウソついた理由は……立たせてた言い訳にちょうどよかったから……
ホントは先生の胸モトを見てコーフンして立っちゃったんです
ゴメンなさい…ウソついて悪いヤツです僕って……
……

——そして
それ以上を望んで
しまう……
欲張りな
男です……
あっ!?
グッ
スル…
ややだ
ダメ……
こんなの
ダメ……
ハァッ
ハァッ
あっ
ポン
はあ
はあ
あっ
ま 待って
文宏クン
ね
冷静に
なって……
これ以上は
もう……
ススス…

ねねェ
ウ ウソとか
そんなコト私
気にしてない
から……
やっ
あっ……
ちゅく
ふ……
文宏クゥン！
ああっ……
ダメェ！
にゅ……
にゅる
……
ホ……
ホントに
ホントに
入っちゃう
〜〜〜っ！
あっ
いや……
はあ
はあ
はあ
きゃ〜〜〜っ!!
ズヌ…
れ……
玲奈先生……
ヌヌ……
ヌ

僕に『女の人』を
教えてください
〜〜〜〜〜ッ!!
は……
入って〜……
入って〜ウ〜〜〜
あっ
はあ
はあ
ああっ……
いや……
あっ
ああっ!

う
うわ…♡
は……
入っちゃった
あっ
ヒクン
はっ
はっ
ああ……
先生の膣内(なか)にィ
……!!
ギュ…

ずにゅにゅ…

にゅ

にゅ

沈む…沈む
さらに奥へと

ず……
ずっぷりと
根元まで

ぼ 僕のモノが
先生の大事な
トコに
ググイと……

ムニリとした
感触……
あったかい♡

そして先生の
この表情♡

ウレシィほど
ソソリますっ

あ

あ

……

そ

それでは
先生……

ゴクッ

はあ

はあ

動かし
ますっ！

ズルゥッ

ゴ♡

ゴヒッ

あっ

ガシュッ

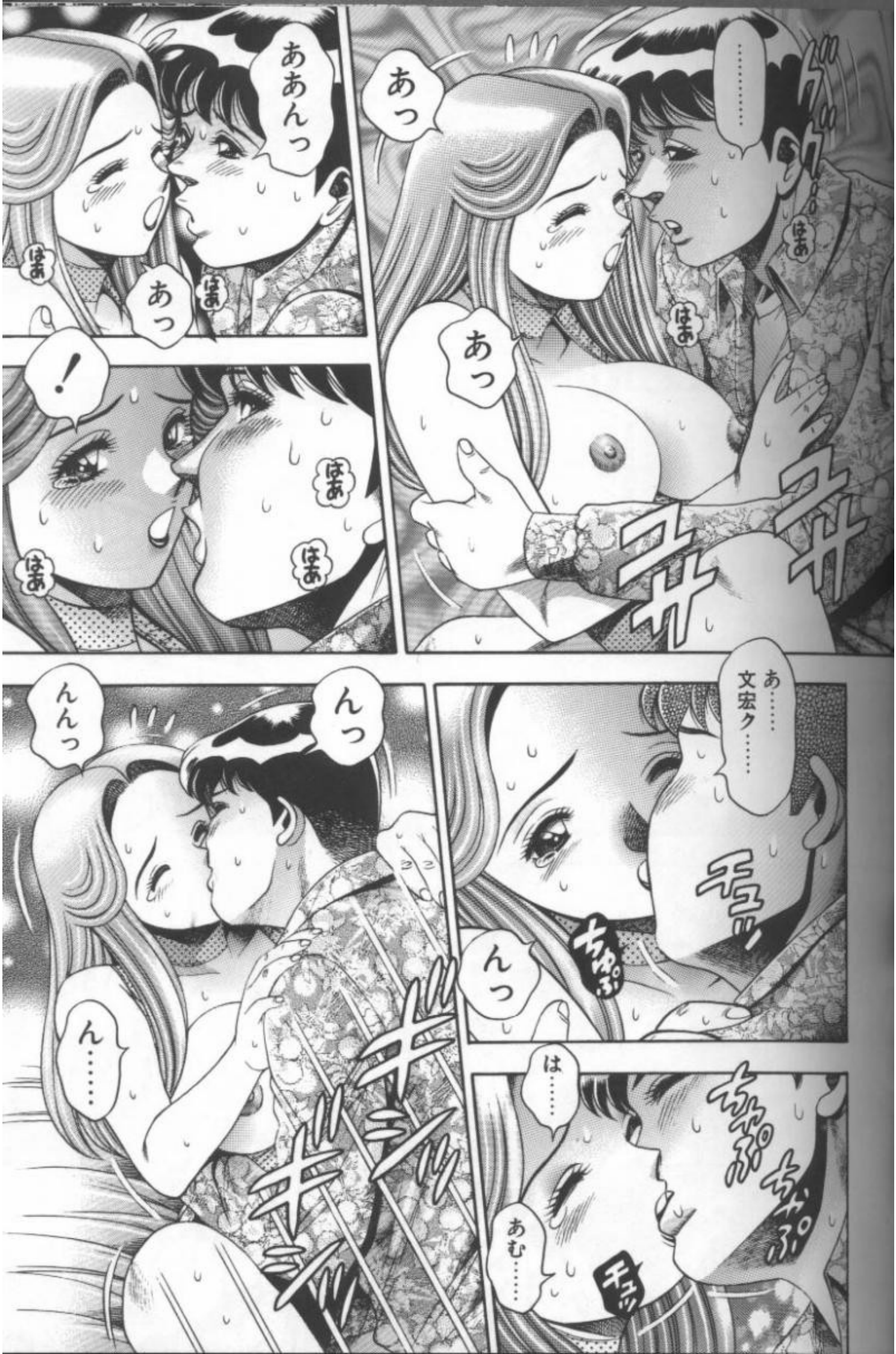
ガシュッ

チュプッ

ズルッ

おっ
お…！
はっ
はっ
あッ ああッ
ギシッ
ギシッ
——おおっ！
これが「セックス」……
女の人の感触…♡
すっ……
スゴイ
これが
僕の……
先生との……
じゅん
あっ
あっ
感動のッ
「初体験」♡
ニュプ
ニュプ
う……
あ…や
やだ……
やあ……
そんなに
ゆすっちゃ……

や…やだァ
動いちゃダメェ！
え!?
こうなっちゃったのは
もうしょうがないとして
……
あまり動かさずに
早く終わらせて……
い…言ったでしょ
私ビンカンなのっ
……
動かさず
にっ…て
だっ……
だってね
ホントに
そーなんだ
もの……
「ビンカン」って
…じゃあ
この
くらい？
！
あっ
あうっ
ど……
どうですか？
う……
うん
ここのくらい
なら……
なんとか
……
あっ
せ 先生……
かっ
カワイイっ
……



……
あっ
はあ
はあ
あっ
ユサ
ユサ
ああんっ
はあ
はあ
あっ
！
はあ
はあ
はあ
あ……文宏ク……
チュッ
ちゅぷ
んっ
は……
ちゅぷ
ちゅぷ
あむ……
チュッ
んっ
んんっ
ん……
ギシッ
ギシッ

んむう……
んっ
ちゅっ
ちゅくちゅっ
んっ
んふ……
ギシッ
ギシッ
じゅぷっ
じゅぷっ…
んふ……
ちゅぷちゅぷ
んふうううっ……
——あッ
はあ
ぷはっ
はあ
はあっ
——はああっ
これがディープキス
…せ 先生の舌が
…クチビルが
ほんのり
甘くて思わず
ウットリ……
いつまでも
こーして
ナメ回してたい
カンジ……
上も下もで……
まさに天国♡
フッ
フッ
ちゅる
ちゅぷちゅぷ
ぐちゅっ
ぷちゅ
ずちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あふ……
あむうっ!

…ですが
…はっ
はあっ
はあっ
もっと……
気持ちよく
なりたいっ
激しく
ゆさぶって……
イキたいっ
——ああっ
もうガマン
できないッ!!
ああッ!
あッ
ギシッ
ギシッ

え!?

い……いやっ

あッ

つ…強いよォふ 文宏クン!?

ぐちゅっ

ぐちゅっ

ご…ごめんなさい先生

ごめんなさいッ

あッ

あああああッ!

ズブズブ

ギシッ

ギシッ

ずしゅ
ずしゅ
あッ
ああッ
はッ
はッ
グプ
グプ
はあっ
はあっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ズプ
ズプ
ぐちゅ
はあっ
はあっ
あッ
ああああッ!!
ギシッ
ギシッ

ダ ダメェ——
文宏クン！
そ そんなに
激しくしちゃ……
——ああっ
あッ
ああッ
ホ…ホント
ゴメンなさい
先生——
でも…でも
こんな気持ち
イイコト……
やめられ
ませんっ！
いやっ……
あああッ
あッ
あああッ
ぐしゅ
ぐしゅぐしゅ

あッ
やだあ
…あッ
ズプッ
ズプッ
あッ
ああッ
…ああっ
スゴイ…スゴイ
気持ちイイッ
ズルズル
コスれて……
あっ
こ これじゃ
またスグ……
ああっ
またスグ
イッちゃいそう……

今日は仲良く遊んでるってトコかな？
……
ジョボボボ…
……ん？
何か音するわね……
二階？
キシ
キシ
あっ
あっ……
あっ
あああっ！

いやあ……
あッ……
ああ……
あっ
あッ
あッ
あ……
いや……
はあっ
はっ……
あ……
はあ
はあ

あッ
や……
やだっ……
ああッ
やっ
ダメ…これ
奥に当たる
はあ
いや
ああっ
はあ
た……
確かに……
はあ
僕のアソコの
先が何かに
当たる……
奥まで
届いてるって
コト？
はあ
あっ
ああっ
ズルッ
ズルル

——ああっ
先生のアソコに
僕のモノが
入ってるんだ……
あっ…
あぁっ
先生の子宮に届くほど
ずっぷりと根元まで
…それも
こんなに激しくッ
ずぽっ
ずぽっ
す すごく……
超感じちゃう
…けど
スグにイッたら
もったいないよ
……
あっ
グニ
も……
もっと もっと先生と
こうしてたい
……
あっ
あ……
でも
グニ
す…すごく
きも……
気持ち
イイッ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

すすごい！
最高です 先生ッ
頭がよくて
カワイくてナイスな
ボディで……
はあ
はあ
本気でスキに
なっちゃいそうです
よぉ～～～～ッ♡

——でももう最初で最後……こんなコトもうないだろーなあ
どーみても僕のワガママに先生が付き合ってくれてるってだけだし……
『次』はないよな——
トントン
トントン
い!?
ビトッ
先生 お茶入りましたんで……
文宏もどぉ一息入れたら……
入っていーかしら?
——文宏?
え?
あ…うん
ちょ ちょっと待ってね——っ机の上かたすからァ——ッ
サッ
わひゃ——っ!ズボンズボン穿かなくちゃ——っ!
せ 先生は服大丈夫ウ——!?
わ…私は平気だけどそれかぶるの?
——?
入るわよ?
チャッ

あらっ
あ……
ど どうぞ おかまいなく……
…ふゥ〜〜〜んっ よかったねぇ文宏 玲奈さんが家庭教師でぇ——♡
やっぱり美人な先生だとやる気もでちゃうってワケ？
なっ 何言ってんのも——っ
あはっ…
イーパンです
こっちもイーパン
……あらまへ——っ
ちゃんと教科書広げちゃって……
ペコ
ど…どうも
あっ……ありがと母さんっ
そこ置いといてくれる？
何よっ 違うとでもゆーのお!?
たのむからもーからかわないでよ——っ!
……
ホラ母さんジャマしないでねっ!?
あ——ハイハイ
わかったわよもう行くわよっ
それじゃ先生よろしくお願いしますね——っ
パタン

…はあ
行った……
ほっ
あ…危なかったあ～～～っ
まさに危機一髪ウ～～～～ッ
たぁれそう
はあ～っ
ヨロ
ホ……ホントね
――でも私お母様にウソついちゃったのね
まだ勉強始めてないのに
少し罪悪感……
え…そんな悪いのは僕なんですから……
ビクッ
そんなふうに考えないでくださいよおー
う……うん
――でもホラ私の方が大人なんだし
やっぱり……
そ そうだ！「今日は自己紹介程度でいい」って母さん言ってたんでしょ!?
すごい「自己紹介」になっちゃいましたけど……
あせっ
これから目一杯勉強しましょーよっ！
ねっ先生！
ぴよん！
もう あんなコトしませんから……
『先生やめる』なんて言い出さないでくださいよお～～～っ
……
クスッ
！

うふふふっ♡『自己紹介』…って
ホントすごい『自己紹介』よね――っ
ウス
ウス
おかし――っ
ーん？
よ よかった……セーフ！
いい感じで笑ってくれた……
ウス
ウス
――もうしないって約束できる？
あーゆうコト……
えっ…？ええ
ドキ
今夜のコトは二人だけのヒミツ……
守れる？
はっ……はい！
やっぱり思ったとおり『次のエッチ』はないか……
そりゃそーでしょ……
仕方ないよな――
トフ…
エッ!?

まだ途中……だったでしょ
文宏クンの方……
えっ
あっ……あの？
ドキ
ドキ
今日だけ…ならいいよ
次からもうしないって
約束してくれるなら……
いいよ……今日だけ
えっ…じゃいいんですか……
また……
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ええ……
その代わり約束守ってねっ
ドキ
はっ
はいいィ〜〜〜ッ
じ〜ん
守りますゥ〜〜〜〜〜〜♡
ホントにいい人スバらしい人だよなあ……
はあ
はあ
先生……玲奈先生っ
こんな僕にも気を配ってくれたりして……
優しすぎますよぉ〜〜〜っ！玲奈先生〜〜〜♡
んっ
んんっ
はあ
はあ

ああっ
あっ
あっ
ああっ
あっ
あっ
はぁ はぁ
はぁ
いいやっ
少し強い
…!!
あッ
あッ
ギュル
ギュル

…はああ
やっ……

待って
よ 弱めて
……

あっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ふ 文宏クン
——ああッ！

あッ

ああああ
あッ！

はっ

はっ

ああっ

あっ

はっ

あっ

あッ
あッ
あッ
ああっ…やっぱり気持ちイイッ♡先生のカラダ……
この具合のよさ腰を振らずにはいられませんっ
スゴイ……スゴイッ
かっ 感じるウ〜〜〜〜っ♡
こ…これじゃスグにイッちゃう…で でもぉ
ま……まだシテたいっ
「次」はないんだものっ！
ふ…文宏クゥン……
——ああッ
はあっ はあっ
はあっ はあっ
うあッ
あッ ああッ
せっ…先生！次パックでしてもいい!?
し…しちゃいますねっ！
ええっ!?

そっ そんな ダメ
今のままでイッて！
これ以上は……
あッ
うあっ
あっ
くはっ
あああッ!!
うッ……
うわ…わ
はァ……
ビクッビクッ
いやあっ
……
そんな
奥まで……
ブルッ
ブルッ
あっ
くううっ……
体位を変えれば
もう少しもつかな？
——と思ったら……
あっ
大マチガイ
かも…膣内が
上下逆になって
また少し違った
具合のよさ……

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ああっ……
やっぱり……やっぱり気持ちイイッ
モミ
モミ
あッ
ああッ
ギシッ
ギシッ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
あッ
あッ
ああッ
ああっ…イッちゃうイッちゃうよォ……こんなにイイと……
ズルッ
ズルッ
ズルッ

せ 先生っ……
玲奈先生っ！

もっ……
もうダメ

はあっ
はあっ

ぐしゅっ
ぐしゅ
ぐしゅ

でっ…出る
出ちゃう！

はあっ
はあっ

え…？
文宏クン

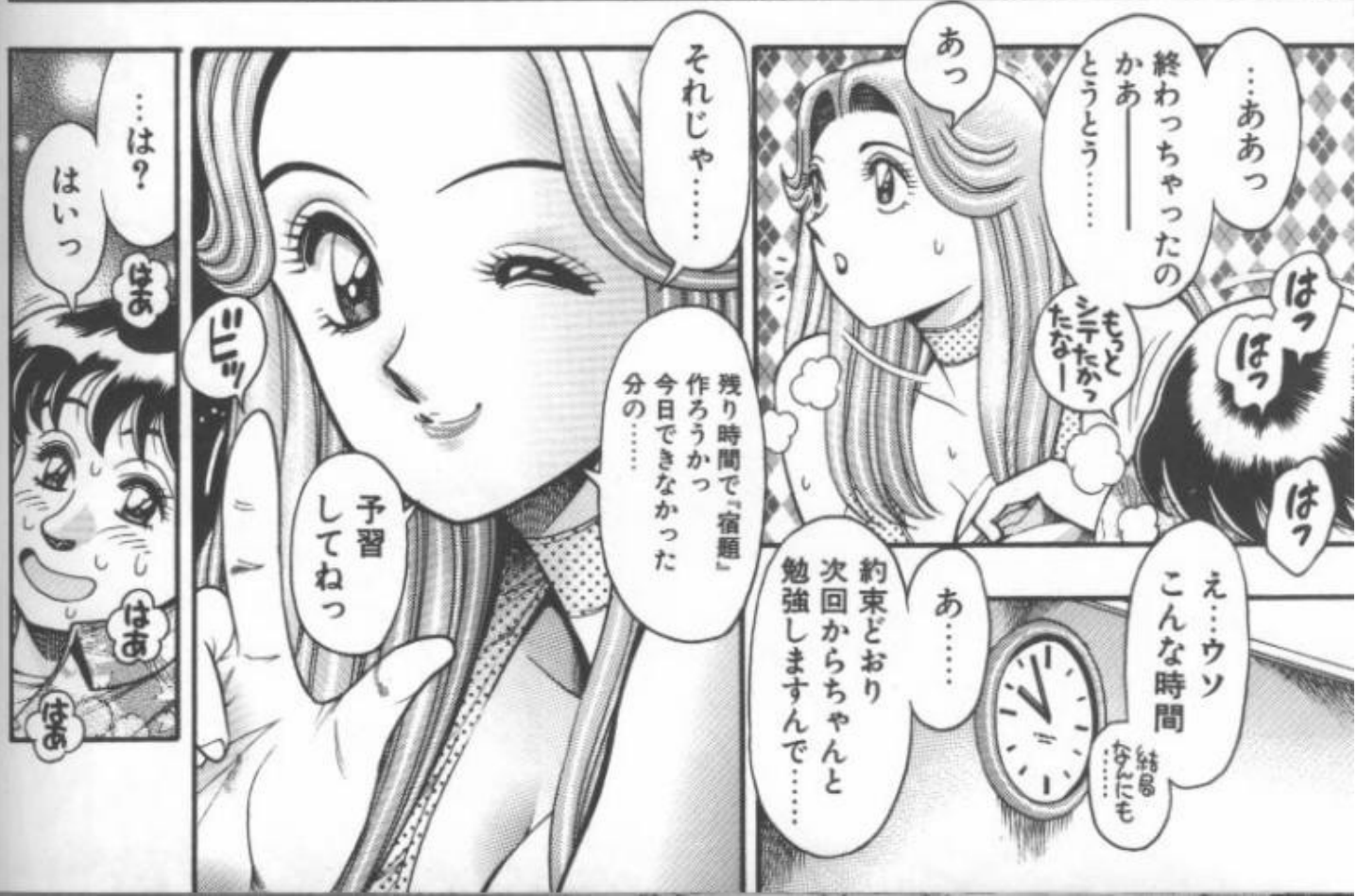
イ イクの？
――今!?

外に…外に
出してッ

ドクッ

ビュル

ああッ



はああああっ！
……かはっ
ビュ…
ビュッ
ビュル…
ビュッ
——はぶはああっ……
……はあっ
はあっはあっ
あ…ありがとうございました…先生っ
よかった……
スゴくよかったあ…最高でした先生……
ありがとう……
！
…ああっ
終わっちゃったのかあ——とうとう……
あっ
はっ
はっ
はっ
もっとシテたかったなー
え…ウソこんな時間
結局なんにも……
あ……
約束どおり次回からちゃんと勉強しますんで……
それじゃ……
残り時間で『宿題』作ろうかっ今日できなかった分の……
ビッ
予習してねっ
…は？
はいっ
はあ
はあ
はあ

山田 成績
上がったよな——
…ん
二年のときより
50番以上
上がったんだって？
すげ——
じゃん！
ポリ
なんか
やってんのか？
『家庭教師』
…して
もらってる
二ヵ月
ぐらいかな
ナニ？ たった
そんだけで
あんなにかーっ
オレなんか
塾二軒行ってて
サッパリだっつーのにィ～～～！
優秀な先生
なんだな——
そんな
短期間で
そうだな
——でも
アレじゃね——
『家庭教師』って
肩こらね——？
なんかこ——
後ろから見張られてるカンジで……
う……
うん
あ——
そーゆーのあるかもっ
目つきのコワイ
スパルタな人
だったらツライよな——っ
見た目
どんなヤローよ
山田ントコのは
……
ヒヒ
文宏クン♡

――あっ
玲奈先生……
こんにちは
こんにちはっ
今帰り？
えっ……
せ……
先て……
ビキッ
ええっ!?
ウォ!!!

先生は買い物ですか？
う うん
コンビニと本屋だけだけどねっ
……
う……美しいっ♡
このヒトが山田のトコの『家庭教師』……
女の人だったの!?
くる
はっ
ドキッ
文宏クンのお友達？
ペコ
こんにちはっ
いやややややっ どどうもっ
ははっ
こっ こんにちはァ――♡
は はじめまして♡
それじゃ 私先行くから
さよならっ
あは
ども
さよなら
山田てめ――あんな美人を独り占めか――ッワザと黙ってたなァ〜〜〜！
ウラヤマシイ！
…しかも巨乳（ボイン）
わっ
いいなあ

うお――ッ
オレも塾やめて
あの美人先生に
習うぞ――っ
連絡先教えろ
山田ァ――！

ダ……
ダメダメッ
先生忙しいん
だから――ッ

――死んでも
言いたくないっ

イタイ
イタイ

僕だけの玲奈先生
なんだからッ

先生が勉強を
みてくれるように
なってはや二カ月
――

その間に春も来て
僕も大学受験を
迎えるトシに
なった……

先生の教え方は
とてもわかりやすく
勉強に集中できた

そう
そう

火木の
週2回

やわらかな口調が
心地よい緊張感を
もたらす……

でね

ココは
こう……

あっ そうか
じゃこうして
こうして……

こうかな

うん
そう！

それで
いいのっ♡

スラ
スラ

キャー♡スゴイスゴイ
文宏クンやるーゥ
のみ込み早いよね——っ
ニコ
ニコ
パチパチ
パチパチ
——と一つ問題が解けるたびハズカシィくらい喜んでくれる……
ちょっと子供扱いだけど……
ポッ
パチパチ
『先生に褒められるのがウレシィ——』…これが僕の勉強へのやる気となっている
——そろそろ時間ですよ先生……あ……そうね
それじゃ少し宿題ねこの辺り——
ここと……ここ！
ドキ
それと……
この辺りも見といてくれると次説明しやすいナ
……
あの日以来先生と『えっち』はない——
ドキ
ドキ
先生にキラわれたくないから話題にも出さない
——でもホントはまたシタい……
抱きしめてキスして『好き』なんて言ってみたい
……

それじゃお母さまシツレーしま――すっ
ペコ
先生っごくろーさまっす♡
ドラマをみてていそがしい
ドタドタ
ビッ
あ
?
そうそう……
ゴソゴソ
これ私のケータイ次まで文宏クン持ってて
は?
――はいっ
――?
後で電話するから……部屋で出てねっ
……
確かに僕の部屋に電話はないけど……なんだろ……ナイショ話かな?
――お
パジャマです

もしかしてあの時のウフフな話とか…？
だったらいいけど……
ピ
ドキ
——あ……モシモシ先生？
え？
ドキ
ドキ
「窓」を開けるんですか？
ジャーーン！
窓を開けたところがなんと私の部屋でーすっビックリしたでしょう——♡
ここを開けると先生の部屋だけど……
ドキ
ドキ
カラ…
なんだろなんだろ……
昨日 偶然発見したのーねえスゴイでしょ——？
な…なんなんですコレ？
二カ月もたってて今まで気づかなかったんですかァ？
文宏クン驚いた？
えっ…ええ！
そりゃもう…
あ…あのもしかしてこのことを教えてくれるために……
携帯(ケータイ)貸してくれたんですか？
うふふっそうよ♡ビックリさせたくて……
あは…そっかそうだったんですか——ヘンに期待しちゃいましたよ——もう……
ポー
『期待』って……どんな？
あ……
ドキ

……
…どんな期待してたの？
文宏クン…？
あっ……いいえっ
あ あの特に何も……『期待』なんて……
わっ
わっ
わっ
うそ……もしかして文宏クン……
あの時のコト…勉強に差し支えると思って私何も言わなかったけど……
その話とか……したかったんじゃない？
あ……
見透かされてる……玲奈先生には
あ……あの
実は……そうです
くす♡
正直ね
今の瞬間私は『家庭教師』じゃないし……
いいよ そーゆー話 実はキライじゃないもの
そ……そうですか
ドキドキドキ
あれからどうしてるの？
自分でしてる？
えっ……ええっ!?
そそんなカケキなっ

ええっ……
えっとですねッ
それは……
それはァ！
オ『オナニー』ですよねーっ
きょとん
ししてないと言えばウソになりますしーっ
でも毎日ってワケじゃああ決してええ！
ご……ごめんねっ
ポッ
いきなり……すぎたね
答えなくていいから……
あの時のコトを思い出して……夜寝る前とかします……
！
せめて夢の中でもう一度…またあーゆーコトできたらいいなと……
願いつつ……握りつつ……えっ…あっ
わわっ…なんてやらしーことを言ってるんだろ僕……
で……それで
……
あの
その夢の中の相手って……
私だったり…する？
ウッ
カカカ
あっ
あの……
ビキビキ
は…はいッ玲奈先生だったり…します
あの……嫌わないで……
え？
そんな嫌うだなんて……

文宏クン…まだ
私にまだ興味ある？
えっ!?
そ それはもちろん……
私のココとか…別のトコとか……
見たいと思う？
え……ええっ
見れたらうれしいのかな……
は
は……はい
ドキドキ
それじゃ文宏クンがんばって成績上げたことだし……
あの
御褒美ってコトで……
少し脱いでみよう…かな
おおおおッ!! やったーー♡ ウソみたーいっ
おおおお
ラッキー♡
コト…
プチ
プチ
こ…こんなことになるなんて……
プチ
プチ
はあ
はあ
はあ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

ねえ
ねえ
み 見てる？
文宏クン……
な なんだか
恥ずかしい……
スル……
言い出したのは
私…なのに
やっぱり恥ず……
せ 先生
キレイ……
すごくキレイ
…やめないで
も もっと
見たいです
…お願い
見せて……
み…見て
ください 僕のも
…こんなに
!?

!!
ポロン
すみません 先生……
どーしても いやらしい目で 見ちゃう……
先生のカラダ そんなにキレイなのに …僕ってヤツは どーしても……
シュッ
シュッ
ああっ
キャ
わ
文宏クン こば…
せ 先生の下着姿 見ただけで こんなに……
…こうやって してるんです 一人でする ときは……
せ…先生は こーゆうこと しますか?
え……
も もちろん 僕ほどしょっちゅうは しないでしょうけど 一人で……
女の人はあまり しないのかな……
……
しない人の方が 多いと思うけど ……
あ…… あの……
私は たまに……
!
はあ
はあ

い…意外！
先生もオナニーするんだ……
先生が身近に感じて…かえってうれしいカンジ
はあ
はあ
文宏クンだけがえっちなワケじゃないよ……
月に一度くらいだけど……私もいやらしいこと考えて…ね
つい手が伸びて……しちゃうのよ
オロ
オロ
あ……
いやだ私なんてことを……
恥ずかしいっ——
あの…先生うれしいです話してくれて……
ほかの人だったらきっと隠してたでしょうに……
え？
フフ……
フォローしてくれるの？
優しいんだ……文宏クン
……
ねえ文宏クン
してるトコ見たい…？
えっ
私のしてるトコ…文宏クンになら見せてもいいかなって…今思っちゃった……
その……
途中までかもしれないけど
見てて……

ーはう
ピクッ
…あっ
ああっ
シュル
シュ
シュ
はううっ♡
あっ
ふ 文宏クン あの……
あっ
あっ
見てる…？ 私が自分で 触ってるのを……
文宏クンも しててね……
その……
一人だと 恥ずかしいから……
もっ…… もちろん ですとも……
ああっ…… せ 先生！
も もっと 見せて…… アソコも……
え…… そ そんな イヤ…… 恥ずかしい
ダメッ
はあ
はあ
そ それじゃ せめてもう少し 激しく……
ムネも 触って……
え…ええ

こんな感じで……
どう？
はあ
はあ
ああ…いいです
先生のムネ……
大きくて……
——できればその
小さな乳首も……
僕がつまみたい……
や……
言わないで……
あっ
下の方も
触り続けて……
パンティーの中にも
手を入れて直接……
え……
う……
うん
あっ……
ああっ
あっ
ああっ

ああっ……
やっやだ……
あっ
あっ
す……
少し
感じて
きちゃった……
はっ
はっ
はっ
はっ
ああっ 先生
たまんない…その
先が見たい……
でも……
僕もう
イキそう……
…えっ
ま まだ一人で
いっちゃ……

ああっ……玲奈先生っそっちに……
この窓をつたってそっちに行きたい……
どうしようもなく先生の膣内に入れたいよ……
ああっ……先生お願い……
熱くて……石みたいにカタかった文宏クンのを思い出すと……
あッ
ああッ
あンッ
え…ダメもうしない約束……
ムリ言わないで……
それにこの出窓開かないもの……
せ 先生は忘れちゃったんですか？僕とした時の感触……
よくなかったんですか？
——ううんそーじゃなくて……
私だって…また
やだ…私やらしいコト言ってる……
あっ……ああっ
うッ
つふっ…
シコシコ
あ……出る……出ちゃう♡
げ……限界です…はああっ
あッ
ぐしゅぐしゅ
ああッ……
う……
ふ……文宏クン！
ぴゅ

来て……
文宏クン……
ギュプ
ギュプ
ギュプ
あ……あの
ご…ごめんなさい実は私いやらしい自分を隠そうとしてたの……
で…でもやっぱりダメ……
こ この前みたいに…お願いこっちに来て私を……
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
も もうガマンできそうもない…来て！
う
…うそォ
せ…先生も僕とシタかったってコト？
ピタッ
ガグ…
お願い……メチャクチャにして……
早く……
ドッ
ドッ
私もう……イッちゃいそうなの——文宏……
うッ
うおおおおおッ!!
今行きますッ
待ってて先生ッ！
あっ
あっ
バキ
バキ
おおっ
ガッ
くるっ

かつ 感激ィーー♡
先生とまた
デキるッ！

『窓』は
ダメだから
……

一番の近道は
直接玄関から
……

先生の部屋に着いたら
あんなコトやあんなコト
あんなコトも……

どひゃーっ
うれしすぎ
ーーっ♡

泣けるゥ
〜〜〜っ

ドドド

うおおおーーっ！
先生今イクよーっ！

バン

ぢゅく
ぢゅく
ぢゅく

ああっ……
文宏クン

早く……

も……
もう

イッちゃう……
イッ……

あっ

あっ

ーー？
オヤ

ドアがあかないぞ？

！

こ……
これは

オ……
オートロック
!?

ピ
ピ

先生の部屋
はたしか
204と……
……？

ピンポーン…

？

うわーーっ
何コレーー
開かないよお
ーーっ！

ひ、えーっ

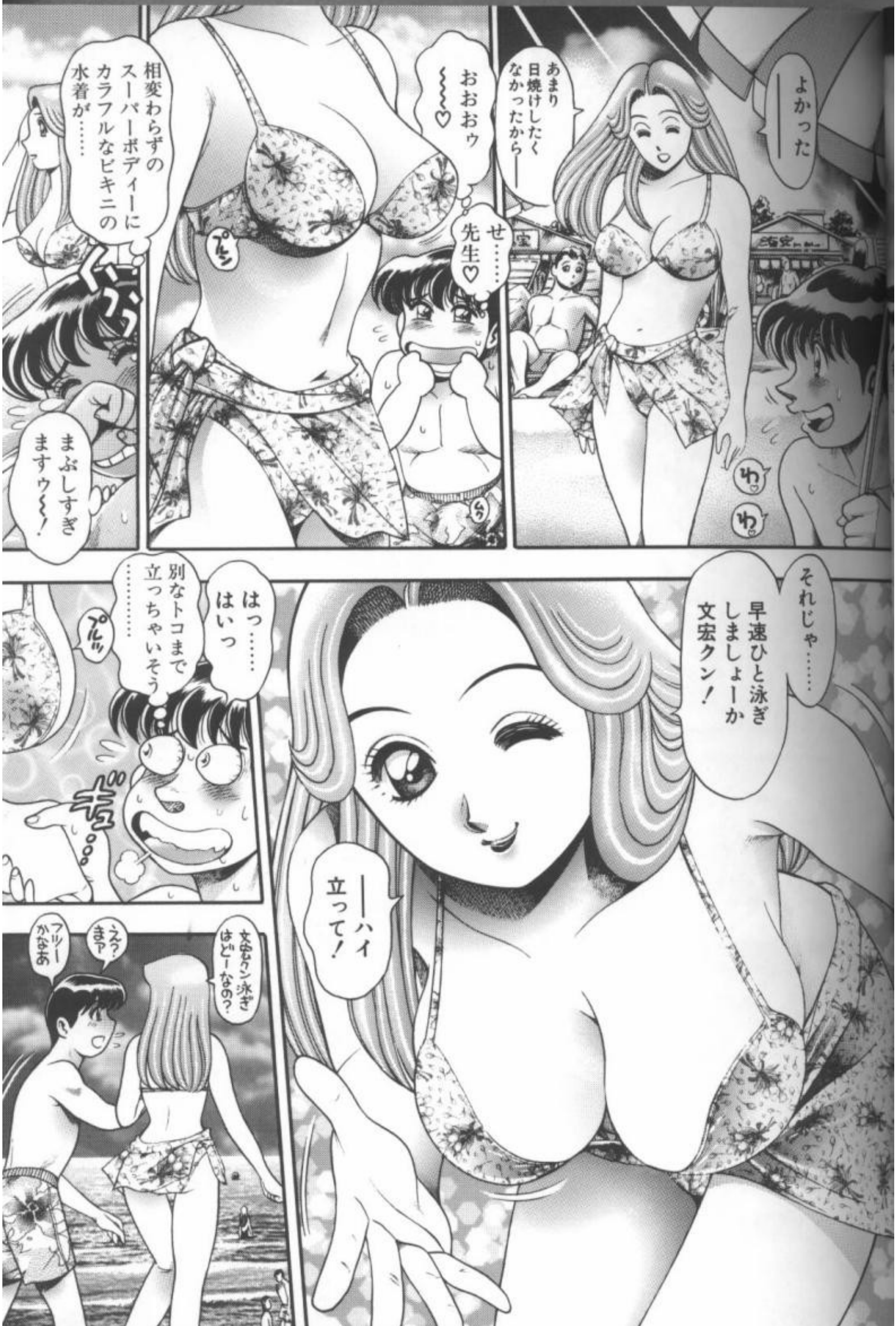
ロック！
ロック外して
先生ーー！

わかんないよーーっ

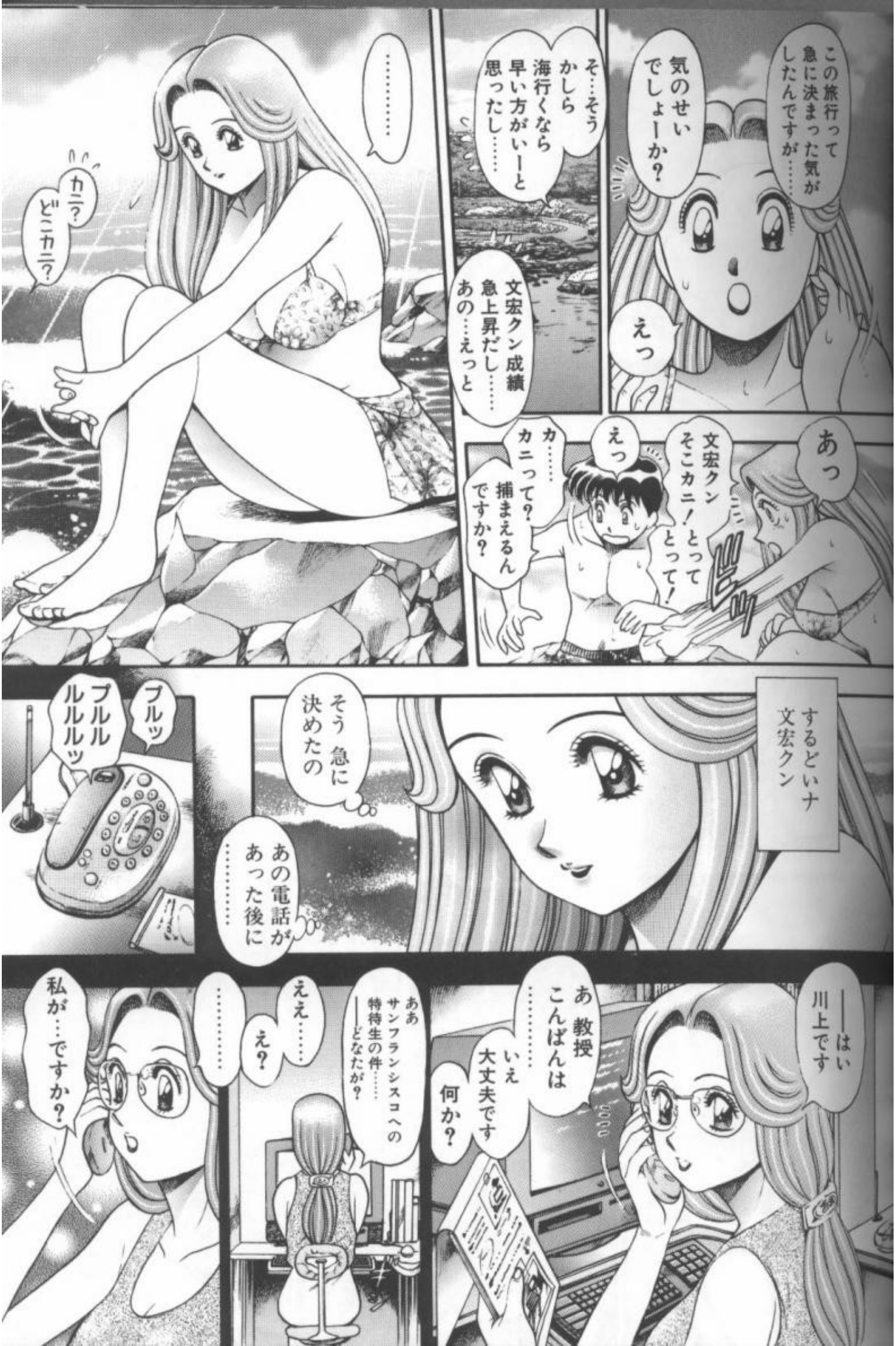
——？
？
アレッ
先生？
モォシ
モーシ！
ああ——！
わっ
え……
コレって
え…えぇ——っ
ま まさかあ!?
イッちゃったの
先生——!?
すう
すう
ん……
文宏ク……
すう
すう
……
ペタ
すう
すう
ねがお
かわいー
……
あの
先生カゼ
ひいちゃう
……
うるる
先生ホラ
起きて……
先生……
先生てば
うるうる

あっ
あの
先生！
それじゃ
今日はここまで
ねっ……
……
あの……
この前の
電話での
続きって
「なし」に
なっちゃったん
でしょーか？
……
こほん！
あ
あれねっ
あの時の私
どーかしてた
みたい……
え…？
私 軽率
だったワ
ゴメンねっ
文宏クン！
反省
先生にあー言われちゃ
僕としてはどーにも
……
あーあ
もうすぐ
夏休みだって
のにィ……
勉強だけの
楽しみウスイ
夏になりそー
ジリ
ジリ

——なんて思ってたら……
夏休みに入ってスグのこと——
お待たせ——っ
すごーいパラソル立てたんだ——
おーっ
んっ
ゲッ
ゲッ
意外にも先生の方からウレシィ誘いがあったんだ！
文宏クーン！
！
はあ
はあ


よかった——
あまり日焼けしたくなかったから——
おおおぅ〜〜〜♡
せ……先生♡
プルン
相変わらずのスーパーボディーにカラフルなビキニの水着が……
まぶしすぎますぅ〜〜！
それじゃ……早速ひと泳ぎしましょーか文宏クン！
——ハイ立って！
はっ……はいっ
別なトコまで立っちゃいそう……
プルッ
文宏クン泳ぎはどーなの？
えっ？まぁ
フツーかなあ

太陽の下で
玲奈先生が美しくて
ウレシィ♡
こんなキレイな
先生の連れが
「僕」ってゆーのも
けっこー優越感かも
……
ぱあっ!
みんな先生を
見てるもんな
——
やっぱり
目立つよな
——
巨乳だし
わわっ そんな
近距離から
なんべんも……
わっぷ
それともう一つ
ウレシィことが
ある…それは——
でも タノシィから
いいですっ
もっとかけて!
この海の旅行で
なんと!『一泊する』
というコト——
——とゆーコトは
夜は先生とムフフな
可能性も……
ありうる
よ——♡
はあ♡
なんてったって
これは先生から
いーだした企画
だしィ——
あっちの
岩場まで
およごっ
文句ナシ?
あの……
玲奈先生
聞いても
いいですか?
ん?
なに?


この旅行って急に決まった気がしたんですが……
気のせいでしょーか？
えっ
そ…そうかしら 海行くなら早い方がいーと思ったし……
文宏クン成績急上昇だし……あの…えっと
……
カニ？ どこカニ？
あっ
文宏クンそこカニ！ とって とって！
えっ
カ……カニって？ 捕まえるんですか？
するどいナ 文宏クン
そう 急に決めたの
あの電話があった後に……
プルッ プルルルルッ
——はい 川上です
あ 教授 こんばんは……
いえ 大丈夫です 何か？
ああ サンフランシスコへの特待生の件……——どなたが？
ええ……
え？
……
私が…ですか？

…はい
喜んで行かせていただきます
ありがとうございます
それでは……
チラ
ガチャ
文宏クン
……
もう私がいなくっても平気よね
ちゃんと受験まで一緒にいたかったけど……
先生……
カニはとれませんでしたけどフナムシじゃダメでしょーか？
ドーゾ
キャ――ッ!!
気持ち悪い 捨ててっ 捨ててぇ――ッ!!
ひぃっ
いらないよう そんなの――っ!
……
ドキドキ
……やっぱり
しょぼ

もうっ 文宏クンたらァ！
だってカニなんてなかなか……
ギュ…
わっ!?
…アレ？
せ……先生？
どうかしました？
今日とゆー日がいい思い出になるといいね
私と文宏クンとの……
そ そりゃあなりますよぉ——っ
僕 海なんて学校で行ったきりだし……
あせっ
先生と来られるなんて夢みたい……
えっ……

あ……
先生……
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅく
ちゅっ
こんなトコで……
――でもウレシかったりして……
ちゅく
ちゅる
ちゅぷ
…あっ
あふっ
…はああ
せ 先生！
久しぶりの先生のクチビル…美味しい♡
ちゅく
ちゅく
ちゅぷ
ムニュ

——あっ
…どき
やっぱり怒られちゃう？
ピクン
——ありゃ抵抗されないぞいいのかな？
このまま触り続けても…!?
ムニュ
ムニュ
ムニュ
…あっ
ああっ
はあ
はあ
ちゅっちゅっ
モニ
モニ
モニ
あん……
どーゆー心境の変化？先生…こーゆーコトはもうダメッて言ってたのに……
グニ
グニ
ムニュ
ムニュ
しかも先生からのキス…なんて少しヘン？
『海』で気分が高まっちゃったとか…？
——だけだとしたらラッキーなんですけどォ——
…ああっ先生のムネやわらかい……
やわらかいな——♡
はあ
はあ
——もう考えるのよそう…っと
——あ
文宏クンちょっと……

あっ
ズリッ
はぁ
はぁ
ダ…ダメ
文宏クン
出すなんて……
あっ
やだ文宏クン
…だれか来たら
見られ
ちゃう……
ギュ…
プルン
あッ
ピクン
パクッ
チュル…
モミ
モミ
モミ
来ません
よ……
はぁ
はぁ
ヴニュッ
ヴニュッ
モミ
モミ
だ……
だって
明るいし
……
モミ
モミ
モミ

…もう
それじゃもう少し低く……
フッ
フッ
ほどほどに…ねっ！
ムニ
ムニ
あ……
モミモミ
あ…ダメ文宏クン……
はあ
はあ
あっ
そ…そんなにしたら……
あっ
モミモミ
ピチャピチャ
ピチャピチャ
クリッ
はあ
はあ
あっ
あっ
あ……や……
やんっ
ダ……ダメェ
クリ
クリ

ぺちょ
ぺちょ
あっ
はっ
ぺちょ
クリクリ
クリクリ
はっ
あっ
ああっ…あン
あっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
あっ…
ガン
文宏クンてば…
そんなことまで……
はあっ はあっ
ちゅぷっ
ちゅぷっ
ダメッて……
あっ
ぐにゅっ
ぐにゅっ
ぐにゅっ
ふ…文宏クンコラ!
!
ス…

ちょっ
ちょっと
文宏クン……
キャー!
ペト
ペト
はあ
はあ
きゃっ
や――っ!
あ…あの
先生…お願い
だから……
少しの間……
いやがらないで
エッ……
ダメ
もう……
文宏クン
また止まらなく
なっちゃう……
あ
あっ
ねっ
おしまいっ
いいでしょ……
先生 僕ずっと
ガマンしてたんだ
……
えっ
だ
だって
……
隣りに座る先生に
ずっとこーゆーコト
したかった……
はあ
はあ
はあ
ぺちょ
――でも言ったら
嫌われそうで……
ガマンしてきました
けどもう……

こんなナイスな先生のカラダを目の前にしたら……
はあ
ちゅぷっ
もうガマンできませんっ
ええっ!?
ちゅぷっ
はあ
レロ
あっ
そっ
そんなあ……
ああっ
はあ
はあ
イ…イヤ！こんなトコで……
しゃぶ
ビチュビチュ
…あっ
ああっ
ここじゃヒトに見られちゃうかも……
はあ
ぺちょ
ぺちょ
はあ
ぢゅくぢゅく

…もう少し違う所でなら……
ピクッ
え!?
はぁ
はぁ
あっ…あの先生ソレって……
場所さえ変えれば『最後までオッケー』ってコトですよねっ
いいの?
ズイ
はぁ
…え
?
はぁ
わ わかりました それじゃあの……
あそこの岩カゲへ……
ふ……文宏クン?
私 最後まで なんて一言も……
こ……ここかな?
はぁ
はぁ
あッ
や……違う
もう少し手前……
グニ グニ
ニチ
ニチ
——も もう相変わらず強引なんだからァ……
アレ
アレ
ホントにもう
人が来たら途中でもやめてね……
わ……わかってる?
は……はいっ わかってます……
ゴ
はぁ
あっ
はぁ
はぁ
あ……入る♡
ヌ…
ズヌ…

ダ…
…んっ
…ああっ
あっ
ズブブ…
ズル…
は…入った先生の膣内(なか)にィ……
実に四ヵ月ぶりの感動…！
ホ
ハァ
ハァ
あッ
あったかくてキュッと締まって…イイ感じ
動いたらもっと……
あッ
あッ
ああッ
ムニ
ムニ
ムニ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ああッ
あッ
あッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ズプ
ズプ
ふ 文宏クン
そんな最初から
……
あッ
ズコズコ
ズコ
強いよ……
ああッ
ダ…ダメ
もっと
ゆっくり……
あッ
ああッ
ぐしゅっ
ぐしゅっ

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
せ先生
今度は
前から…！
え!?
はっ
はっ
あッ
あッ
はっ
ああッ
ああっ……
文宏クンの…あの時
みたいに…太くて
カタい
……
あッ
ぐしゅっ
ぐしゅっ
ああっ
ぐしゅっ
ぐしゅっ
ああっ……
気持ちイイ
…もう
もうスグ
イッちゃい
そう……
あッ
いいよ
いつでも……
あッ

イキそう……
イ…イク
ぐしゅっ
ぐしゅっ
あっ
イク……
あっ
いいよ……
そのまま
イッて……
私 今日
大丈夫な日
だから……
えっ
い…いいん
ですかっ
ホントに……
——あッ
ビュッ
——！
——うあっ
あっ
あっ
ビュッ
ビュル
ビュッ
……
はあぁっ
はっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
ハッ
ハッ
ハッ
あ…せ
先生っ
——いっぱい
出たね……
…はいっ
気持ち
よかった？
…はいっ

あ……
ダメ
まだ
抜かないで
……
えっ
はあ
はあ
もう少し
このままでいよ
……
ねっ
——ああっ
先生スキですっ
愛してますぅ……
このまま……
このまま
ずぅーっと
こうしてたい
なあ……
ザッ
——なあ
アレって
さっき浜辺にいた
巨乳の女だよなー
てっきり
姉弟かなんかだと
思ってたけど……
そーゆー
関係かよ
オレにもタバコくれ
ああ……
ガキがよー
あんな
イイ女と……
ムカつく
よな——
カシャン
スパ
スパ

海の家 海浜

好シャワー室 ⇦ 右入る

シャアアアー

ホッ

ホホッ♡

シャアアアア…

♬

シャアアアア

……

ホッホッホッ やっぱり あの娘が……

この夏イチの ナイスボデー じゃのー♡

海浜

海の家の オヤジさん

女子シャワー
フーサッパリ♡
ちゃんとお湯は出たのか？おじょうさん
あ…はいはい気持ちよかったですよ——
それはよかったホレサービスじゃ飲みなされ！
え…ありがとうございますいいんですか？
浜
いいんじゃええものを見せてもらったしの——
？
いただきま——す♡
弟さんかの…？駐車場の方に先行ったようじゃぞ
そうですか……荷物運んでくれたのかも……
ごちそうさまオジ様っ
お世話になりましたっ
さよなら——
うんうん
またきとくれよー

う――む 胸もいいが……
シリもいいっ！
ホントおしいのう〜〜〜
ワシがもう10年若ければのう〜〜〜っ
ゲゲ…
カルガルとぬかずの三発はイケたんじゃが…
おっと！ナベに火ィかけっぱなしじゃったっけ……
ワッ
キキキッ
イカンイカン
！
――オヤ
先生まだみたい……
カギかかってる
先生の実家のクルマこれで来た
おお〜〜〜！
ビイイイイッ
海の家のオジさん？
？
たっ……大変じゃッ!!
ボ ボーヤのお姉さんが……
タチの悪そーな男どもにクルマでさらわれたッ！
…？
えっ

ゴッ
シュバッ
いやーーっ うまいコト いっちゃったなーー♡
きゃっ
ギュ
や……やだっ
!?
よーーこそっ
チュッ
ジク
やっ……
ハァ
ハァ
ハァ
オイオイ
はっ……放してッ
いやッ
そうキラうなって乱暴なコトはしねーつもりだからサーー
仲よくしてほしいんだよオレたちにもよー

オレラさー見てたんだよぉ〜〜〜〜っ
えっ
あンたとオレもー
もう一人が岩場でコーフンしちゃって
いーコトしてるさァ〜〜〜
トコをよ〜〜〜っだから……
ムギュ
ムニュ
ムニュ
オレにも頼むよ〜〜〜
なっ
何言ってるの……だからって関係ないでしょう!?
——あちょっと触らないでっ!
いやっ!
くふう〜〜〜っすげえムネだなァ!あンたの……
手のひらにのっかってくるみてーだァ重み…丸みモミ具合……
ムニュ
ムニュ
プヨンプヨン
たまんねっスよぉ〜〜〜♡
触らないでったらァ!!
やっ……やめてっダメッ……
ヒヒッ
そんなことしないでーッ
ぐにっ
ぐにっ
モミ
モミ
あっ
おおっ
やあぁ——っ!
プッ

いや……ダメェ！
プニョ
プニョ
見ないで——っ！
おほ♡
ムニ
ムニ
キャ〜ッ
うまそーじゃん！
あッ
ビクッ
運転手はリライ
まじりたい…
ダ…ダメ こんなこと…… ああっ……
パクッ
ムニ
ムニ
ビタ
ビタ
ちゃっ
ちゃちゃっ
はあ
ちゃっ
はあ
うッ…… うう……
やだ…… イヤ……
んう……
チュッ
ジュ〜

ああっ……
イヤーーッ！
ちゃっ
ちゃちゃっ
はあ
はあ
はあ
はあ
シュル…
シュル
ぐにっ
ぐにっ
だれか…だれか
助けてえ！
ああッ
ふ……
文宏クゥン！
痛いっ……
やあああ
ーーっ！
ギュッ
ギュウッ

先生は僕が守るッ！
オジさんバイク貸してっ
ヤツラは山に向かったんじゃ！一本道じゃっ！
見た目ボロのこのスクーター実は125ccなみにパワーアップしてあるッ
追いつけるはずじゃっ！
ヤツラの車は黒のステップワゴン！
ホンダかっ!?
うわああんっ先生――ッ無事でいてぇ――っ！
ああッ
ヒヒ
あッ
いやああ――っ！
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
はあっはあっ
ダ……ダメッ
そ そんなとこナメないでっ……
やだあ――っ！
ビチャビチャ
ビチャ
ビタビタ
ぷちょぷちょ
あッ
ああッ
じかぷ
ぺロぺロ
じかぷ

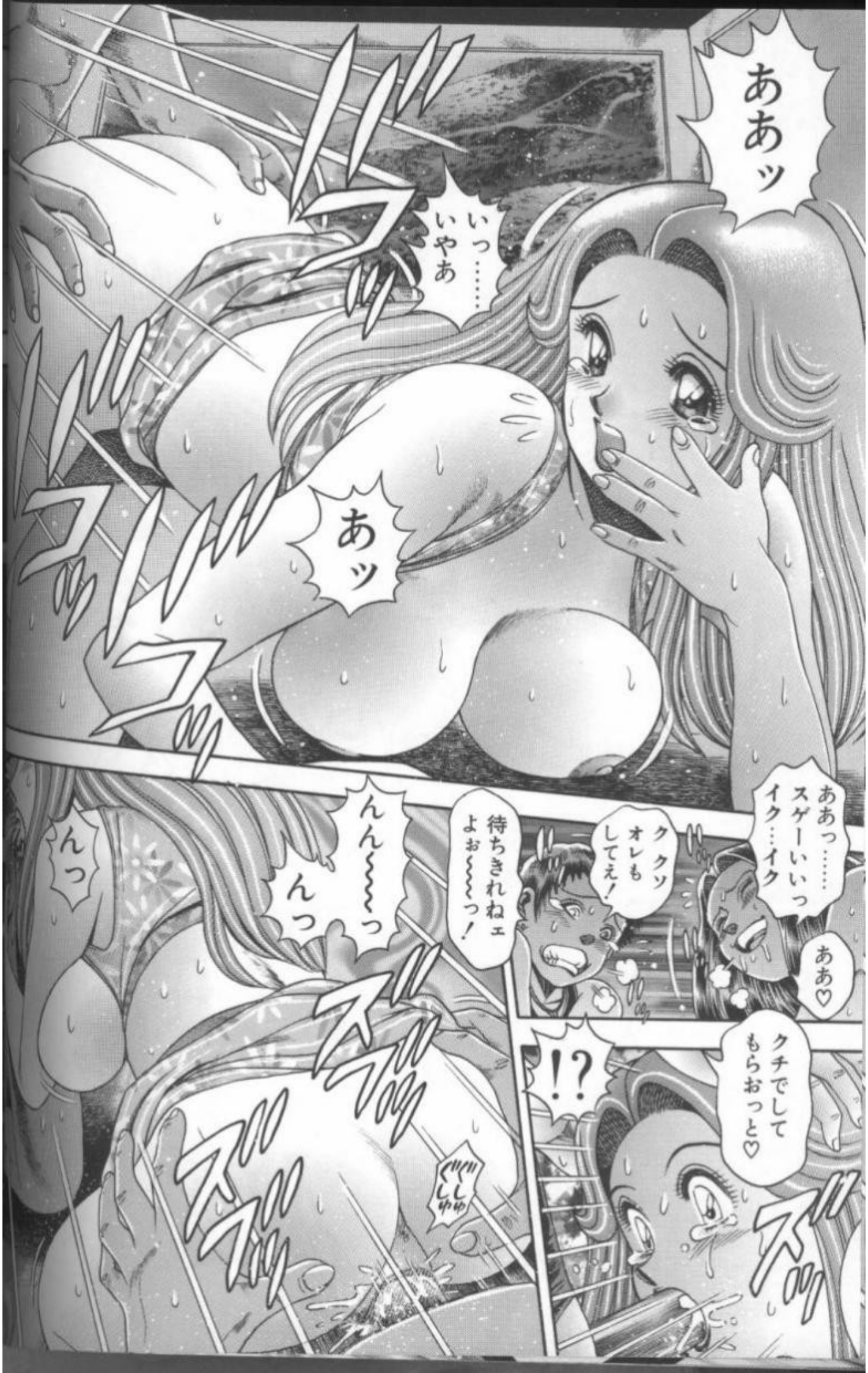
…なァ
オレ先入れていいか？
えっ!?
い…入れるって……まさか……
しょうがねえなァ——
ドキッ
なるべく早めに頼むぜ——
オレもスグヤリてえんだからよ——
はあ
はあ
はあ
はあ
ああ……
そうする……
だっ…ダメェ
そこだけはっ……
い……いやっ！
ゲヌ…
ズズ…
あッ
あああッ！
あッ
…んっ
ビクン
ズヌ…

あッ
ムニ
や やだっ 痛いッ！
ムニ
ずぷっ
痛いッ！ いやああッ
ああッ
ぐしゅっ ぐしゅっ
ずぷっ
ずぷっ
やだあ やめてッ
ムニッ
ずしゅ
はっ
はっ
ズリッ
ズルリ ズルリ
あッ
ムニ ムニ
いやああ——っ！
ずずしゅ
ずしゅ

くう……
か かなり
イイぜ
この娘……
はあ
はあ
あッ
ああッ
イヤッ!
あッ
まだいくらも
使ってねぇ
みてえだなあ
穴が小せぇ
みてーで……
ああっ……
スゲー
気持ち
イイぜぇ♡
ハッ
ハッ
う……
おおっ
イイッ
スゲー
イイッ
あッ
あッ
ああッ
ユサ
ユサ
あっ
あっ!
あっ
ズルリ
ズルリ
ズルッ

あッ
今黒いモノがチラッと……見えて……
あ……あれかっ
あ…あれなのかっ!?
うおおお――ッ
先生――!
今行くよぉ――っ!
はあっはあっ
はあっはあっ
ああっイヤ……
イヤッ……もうやめて……
やめて……
ずちゅっ
ずぷっずぷっ
ずぷっずぷっ
あ…もうヤバイイキそ……
さ最後は……

さ…最後はバックで……
ぐしゃっ
ぐしゃっ
ぐしゃっ
あっ
あっ
あっ
きゃ——っ
いやあああ〜〜〜〜っ!!
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
いやあっ
強すぎる……
ダメエ!
ダメエ——
——ッ!
黒いステップワゴン!!
コイツかっ!?
モミ
モミ


ああッ
いっ……
いやあ
あッ
ああっ……
スゲーいいっ
イク…イク
ああ♡
クチでして
もらおっと♡
!?
ククッ
オレも
してえ!
待ちきれねェ
よお〜〜〜っ!
んん〜〜〜っ
んっ
んっ
くちゅ

はっ
はっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅっ
はっ
はっ
ぷはッ!!
あッ
ちゃんとなめてよもーっ
けほっ
けほっ
けほっ
ポン!
私……
私…こんなことしてる場合じゃないのに……
はっ
はっ
んっ!
んぐっ
ぐしゅっ
ぐしゅっ
文宏クンといい思い出作らなきゃ…なのに
こんなことになって…ごめんね
……文宏クン
ーーオイ いつまで運転してんだ?
この辺なら人もいねぇみてーだし
!
ぐっ
ぶぐっ……
ぐぶ
もうすぐオレラの番だぜ 車とめてお前も来いよっ
おうっ そうすっか!
やっとお呼びがかかった
ーーん?

車をとめ……

ペタッ

せっ……先生ッ!?

わあああああッ

——やべっ岩場で一緒にいたガキじゃんかっ

スピード上げて引き離してやるっ

んっ

なんだ?このオト

い!?
このおォオオ——ッ
とめろッたらとめろォ——ッ
先生——ッ
てってめェガキィ——ッ
よよせっ
なんてことしやがるオレの車にっ……
返せぇ——ッ
僕の先生を返せぇぇぇ——ッ
返せぇぇぇ——ッ
わあああああっ!
く……くそっ
へこましたな…オレの新車を……
ふざけやがって……
ひっかけてスッたおしてやるッ!!

ふ……
文宏クン
やだ……
私のために
あんなに
一生懸命に…?
じ〜ん
バイク
どうしたの?
ナニ加減
してんだよっ
ドカッて
ハネちゃえっ
え…ソレって
ヤバくねー?
えっ
やっ
やめて!
そんな
危ないこと
しないでッ
ゴオ
オ
ヘーキだって
死にゃーしねぇ
だろーよっ!
ゴオオ
——あっ
ニリャマズイ!
ひどいっ!
ダメェ——ッ
お願いだから
彼には手を
出さないでぇ——
私は
何をされても
かまわないから
そんなコト
言ったって……
落ち着かないでショ
あんなのがいちゃ……
ど……
どうするっ
減速したら
離される……
ココで
捕まえる
しかないッ
ホラ
やっちゃえ!
よ……
よしっ!

!
わっ
ととっ!
な なんだ どうしたっ
ガキだ!
その女と一緒にいた……
!?
くっ
ううそ 文宏クンが来てくれたの?
どうやって……
えっ

ガしゃっ
いやあああ――っ!!
文宏クゥ――ン
おおっ やったか!?
ガクギャン
先生――ッ
!
どこかにつかまってえ――っ!
――あれっ
バイクだけだぞ?
ガキはどうした
なにっ
!?
ガしっ

なっ……
おっ……
おいっ
うおおおッ
なんだとォ……
このガキィーッ
車の屋根
にっ……!!
はっ 放せ!
危ねえ
——っ!
ハ…ハンドル
がっ…!
わあああ!
ズッ
ズル

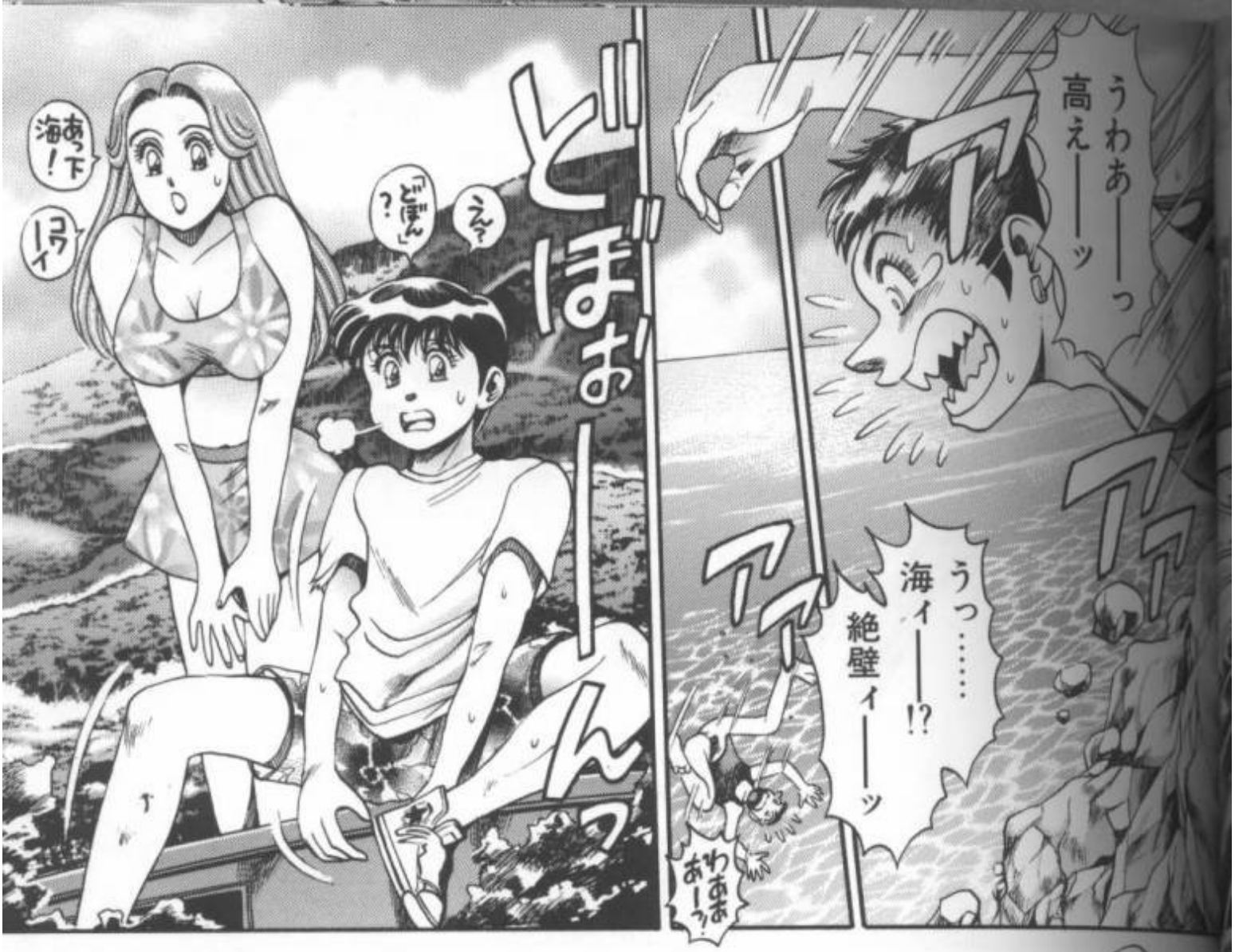
ぬあっ
げっ
ガッ
ガシャ

ほんげーっ
せっ……先生!?
おっと!
!
ヌ…
て……
いて……
ムチャしやがって…このォ
クソガキ
やってくれたなッ!
ヨロ…
!
おおおっ!
バ バカよせっ!
この非常時に…!
ぶげっ!

よくもッ
よくも
よくも
よくもッ
よくも僕の
玲奈先生をォ
オオ――ッ!!
怖がらせたなっ
泣かせたなーっ
こんにゃろぉ――っ!

あともう一人いるはず……
出てこいッ
ザザ
あ……ヤバ……
ヤバイ！
！
ザ
ぐるっ
わっ！
ガガガ
ガガッ
ガガッ
ガガッ
バキ
バキ
おおッ
ガガ
バシッ
わわっ……あぶっ……あぶなーっ
うひゃーっこわーっ！
おっ…ととまった？
ゴド…
グラ
グラ
まさに危機一髪……
！
ドドドッ
ぐっ！
このっ
——たく冗談じゃねーぞっ
ワル者はオレラだけどよ
オメーの方がよっぽどヒデエことしてるぜ
うう…
女は後回し……オメーいたぶった後……
ペッ
目の前で姦ってやるッ

えいっ
うおッ
ここのアマ
何しやがるッ
出しゃばるん
じゃねーっ
先生
ナイス!
くるっ
ぎゃああッ
わああ
ああっ!?



うわあーーっ
高えーーッ
うっ……
海ィーー!?
絶壁ィーーッ
わああああーっ!
どぼおーーんっ
え?
「どぼん」?
あっ下海!
コワーイ
はっ!
せっ……
先生ッ!
うわああっ
ゴメンなさいっ
先生 遅く
なってえーー!
エッチなこと
されちゃった
のーー!?
え?
ううん
少しね……
がばっ
ウフフ…おかしいの
悪者を三人も
やっつけてくれた
白馬の王子様なのに
……
いつもの
文宏クンだ♡
わあ
来てくれて
ホントに
ありがとう
うれし
かった♡
この手は?
ああ

僕らが山を降りたころには日はもうすっかり暮れていた

バイクは意外と軽傷だった

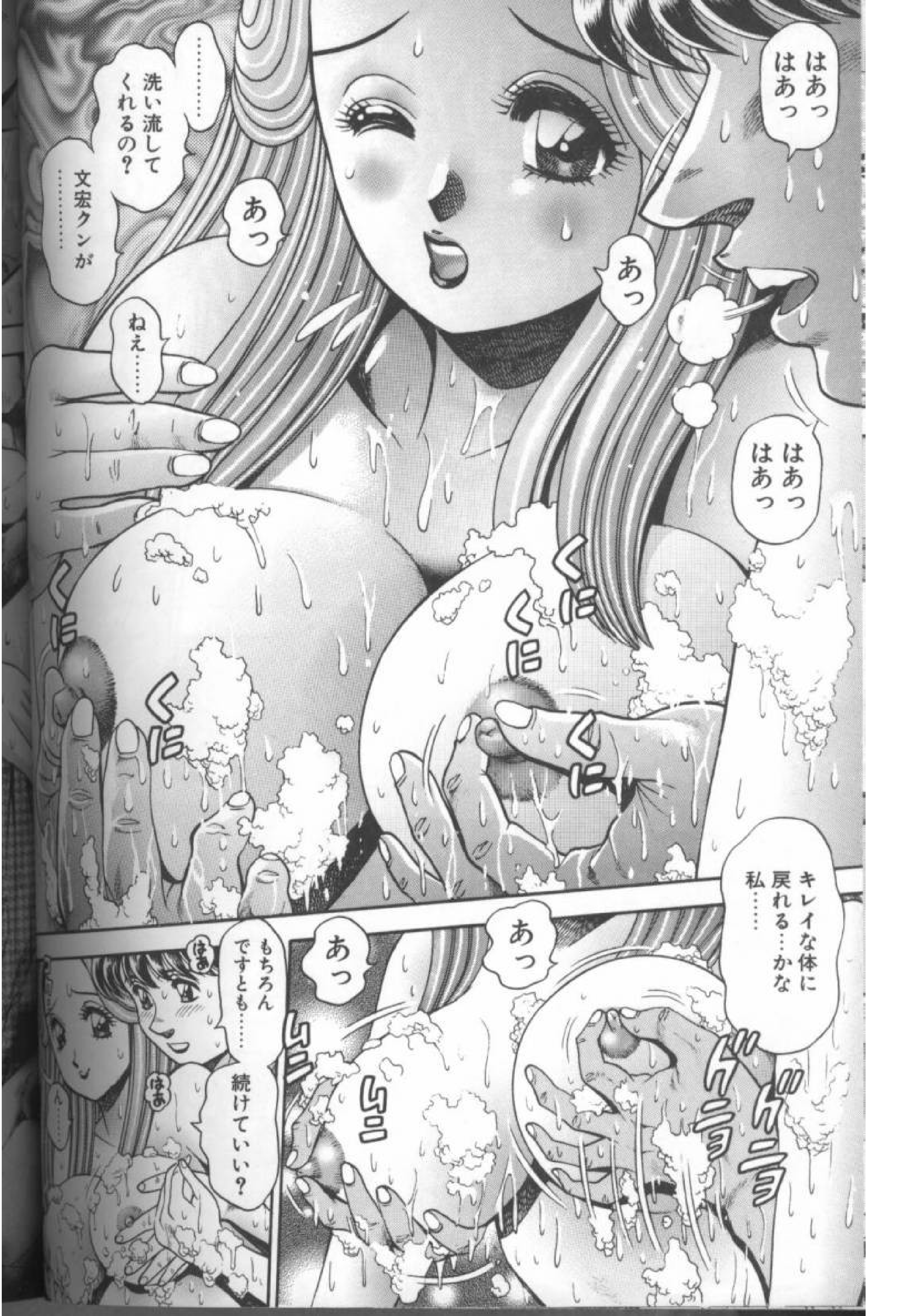
先生もわりと明るい表情を見せてくれるので……

僕は安心してたんだ…けど

……
先生！
ポチャ…
ぼふー
こっち『女湯』だよぉ——っ！
きゃっ
ふ 文宏クン いつの間に…!?
だってえ——
先生オフロ入ったきり二時間も出てこないんだもの——
心配するよ——
ほかに誰もいないから入ってきちゃった
うるうる
エ…ウソ 二時間てッ……
そんなに…？
アレ？
先生……
やっぱりキズついてるんでしょ？
昼間のことで……
僕の前だからガマンしてるんでしょ？
つらかったらカオに出して一緒に泣こうよ
泣いたら少しでも早く忘れられると思うから……
……

クスッ
――でも違うの……
襲われたこと文宏クンのおかげでもうすっかり気にしてないの……
えっ？
私はもう平気なの
ありがと文宏クン心配してくれて……
――でも実際汚れちゃったでしょ私のカラダ……
今夜は特別な夜にしたかったのに……
文宏クンに申しわけなくて……
――さて
やっぱり熟くなっちゃったね……
あがろうか……
ゲームでもしに行く？
せ……先生っ
そ　そうだったの……
僕に対して悩んでくれてたんだ……
エッチされちゃったことよりも重く……
僕なんかのために……
うっく　いっく
グス…
ふ……文宏クン？泣いてるの？
汚れてなんかないよ――っ
玲奈先生はいつだってどんな時だってキレイだよ――っ！
プル
プル

先生が汚れてるって思うんだったら……
僕がっ……
石ケン
僕がキレイに洗い流してあげるッ！
ええッ!?
パラッ
ちょ……
あっ
そーゆー問題じゃ……
ちょっと文宏クン！
やン！
ダ…ダメだって…ば
あっ
あっ
ヌル
ヌル
ヌル


はあっ
はあっ
あっ
……洗い流して
くれるの？
文宏クンが
……
あっ
ねえ……
はあっ
はあっ
くにくに
くにくに
くにくに
キレイな体に
戻れる…かな
私……
あっ
あっ
ぐにゅぐにゅ
むにむに
もちろん
ですとも……
続けていい？
はぁ
はぁ
ん……

はあ
あっ……
ああっ……
はあ
あっ……
はあ
くに
くに
くに
くに
はあ
チャプ
チャプ
はあ
あっ
ヌル
ヌル
あふ……
はあ
ヌル
ヌル
プルプル
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
チュッ
チュプ
ヌル
ヌル
ヌル
ヌル

あっ
チャプ
チャプ
ああっ……
あん……
ふ……
文宏クン
はあ
はあ
はあ
あっ
や…やだ
感じちゃう
…私
あっ
あ……
ああっ
……
はあ
はあ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ヌル
ヌル
ああッ
あッ

それじゃ先生……
はあ
え……
はあ
こっち向いて……早速始めましょうか
はあ
僕とのエッチでキレイに洗い流します……
いいですか？
ハァ
ハァ
コク…
…うん
お願いします文宏クン……
ぴと
ズヌ…
あッ
ギュ…
うッ……
ハァッ
ハァッ
にゅるにゅる
にゅる
ああっ
ぐにゅっ

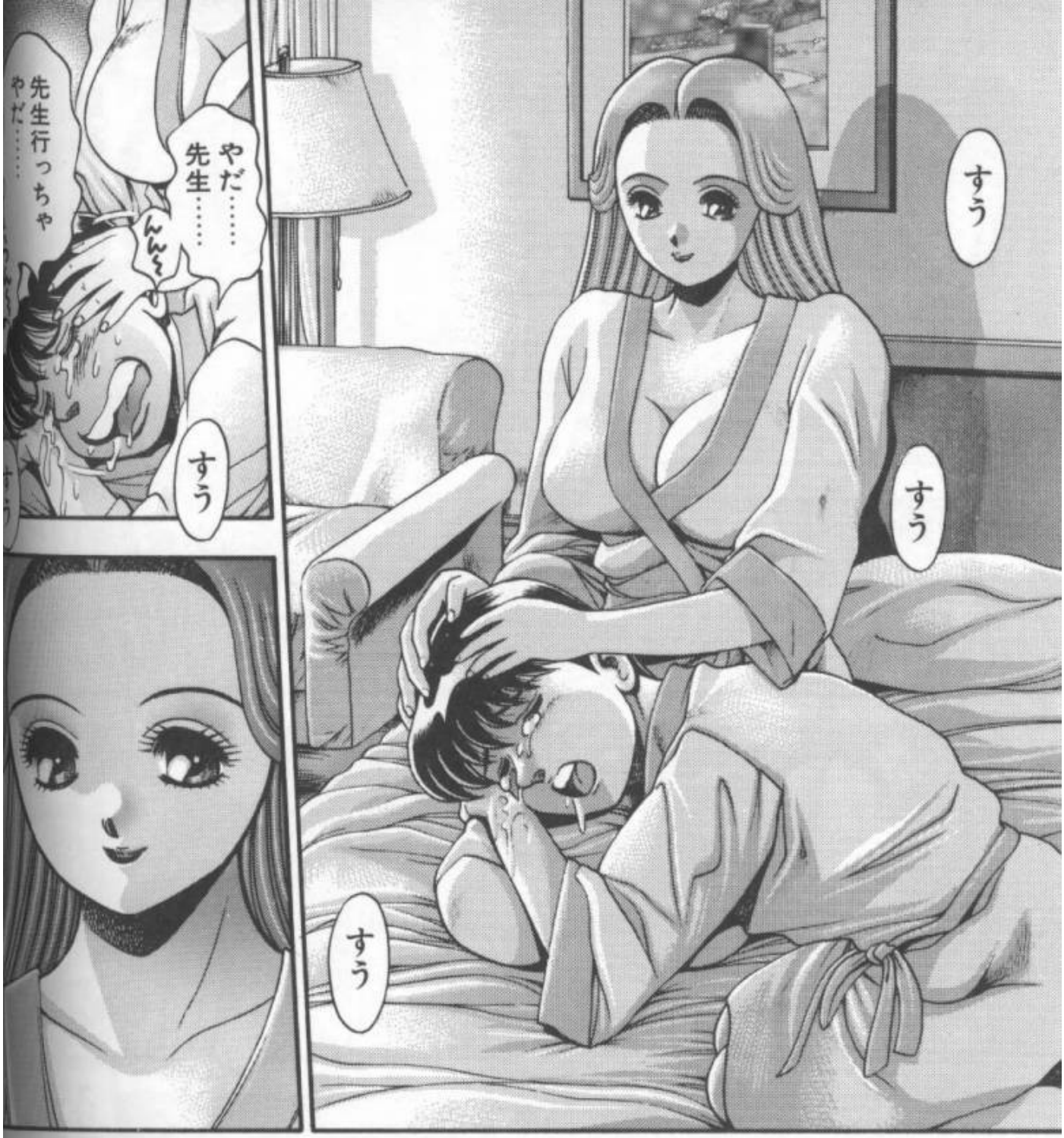
あぁッ
あッ
ぐにゅ
ぐに
ぐに
ぐに
あっ
あぁっ
あッ
あぁッ
ぐに
ぐに
ぐに
ぐに
ぐしゅっ
しゅっ

ああっ
カタい……
ま……
また
大きくなって
きてる……
文宏クン……
はあ
はあ
あっ
ああっ
だ……
だって……
ああムネ
先生のムネ
やっぱり
イイんだもの
先生のカラダ……
すごく
コーフン
します……
くり
くり
先生の膣内で
僕のがさらに
カチカチに……
あっ……
だから
……
だから
こーして激しく
ゆさぶって
ないと……
はち切れそうで
落ち着かない
……
あっ
ああっ……
イイ♡
あああ
せっ……
先生っ！
んっ
んあっ
んっ
レロレロ
ピチ……

ん……ふ……
ちゅっ
ちゅぷ
ちゅぷ
文宏クン……
あふ……
……ぷはっ
はあっ はあっ
あっ
あっ
ずっ
ずりゅっ
ああっ……
あっ
はっ
はあっ はあっ
ああっ……せ 先生っ も…もう
イ……イク……
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ズルッ
ズッ
…イキそうなの？
膣内でイッてね……
文宏クンのたくさんの熱いので……
キレイにして……
はっ……はいっ
ずぷっ
イキます……
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ずぷっ

そしてこの後――
この旅行から帰ったら
スケ玲奈先生は……
急遽決まった
アメリカ留学に出発
することを……

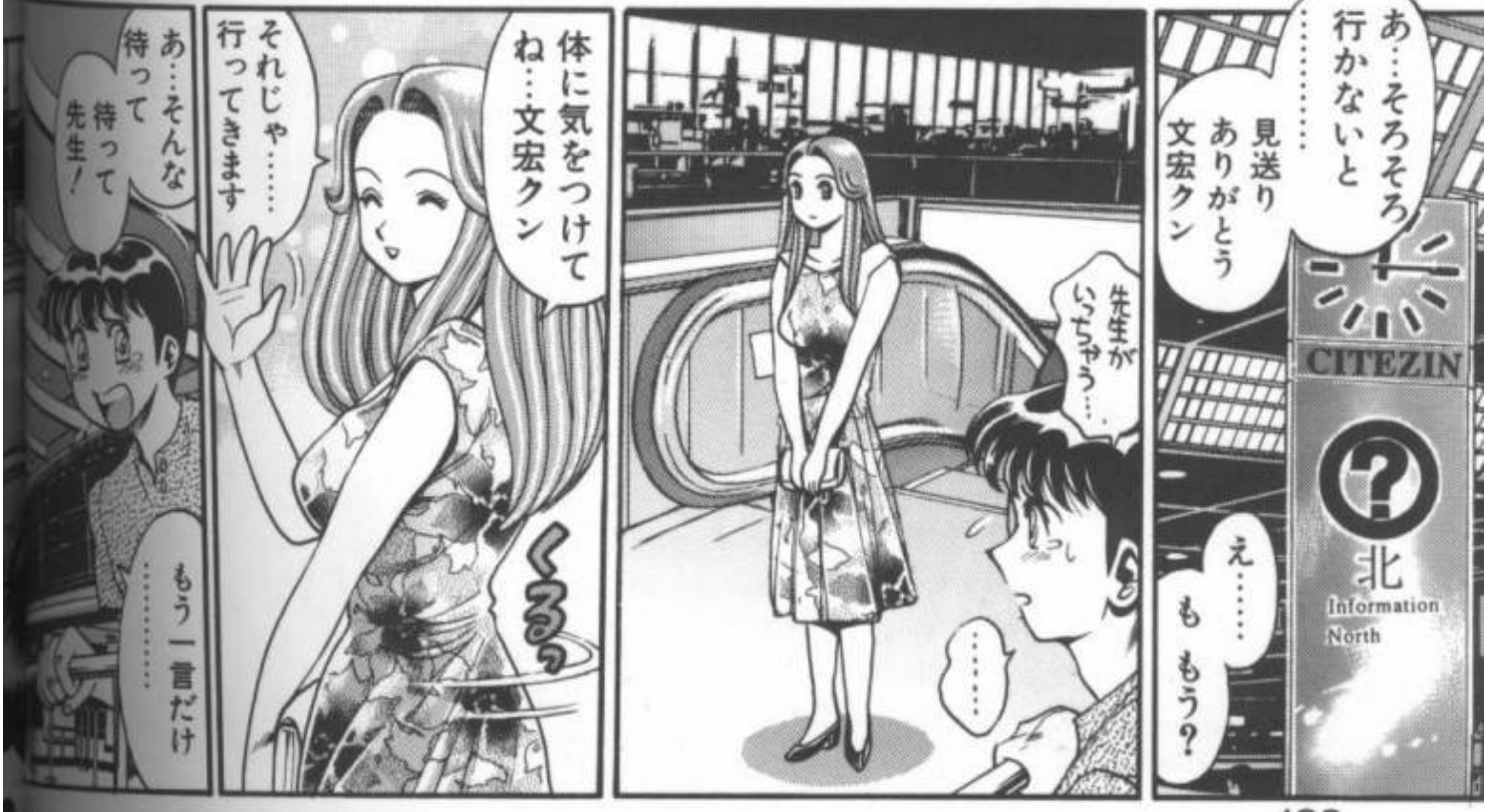
僕は知らされる
ことになる――


すう
すう
すう
すう
やだ……
先生……
んんっ
先生行っちゃやだ……

明日も晴れるね
ほら 文宏クン月があんなにキレイ……

私ね……
昔 好きだった人がいたの
コツ
コツ
残された私のすることといえば勉強ぐらいしかなかったわ……
彼と唯一の共通点だったし……
それからの五年間 私はひたすら勉強……
勉強！
そーすることで悲しみはまぎらわせた
——でもおかげで……
私はあの大学に残っていつまでも勉強し続けたい
いつのまにか私は勉強が好きになってた——
教授にも博士にもなれなくてもいい
この留学はそのための私にとって大きなステップなの
さて！
どうして私がこんな昔話したかとゆーと……
え!?
その人 私が高校生だった時の先生だった
「卒業したら結婚しよう」なんて言ってたんだけど……
彼…病気で死んじゃった——
新東京国際空港
Narita Terminal

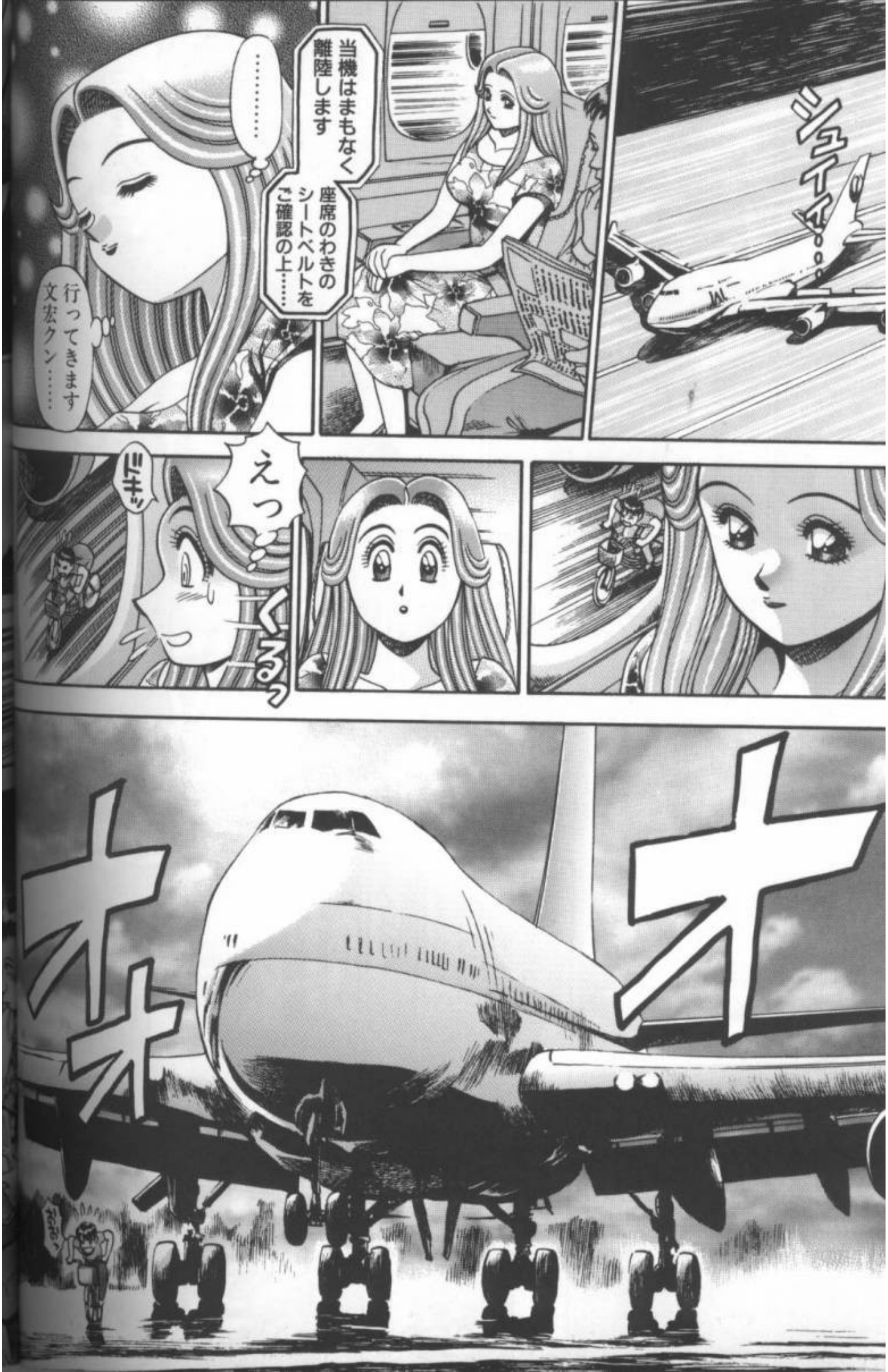
『文宏クンの目指す大学はとてもいいトコロです』
…と言いたかったの
私を立ち直らせてくれて…勉強も好きにしてくれたようにね……
…はい
わかりました 必ず合格してみせます……
今までホントにありがとう
玲奈先生……
文宏クンも勉強がんばって ゼヒ入学してきてね！


あ…そろそろ行かないと……
見送りありがとう 文宏クン
CITEZIN
?
北
Information
North
え……
も もう?
先生がいっちゃう…
……
体に気をつけてね…文宏クン
それじゃ……行ってきます
くるっ
あ…そんな 待って 待って 先生!
もう一言だけ……

も…もう告白するチャンスないかもしれないから……
…今言います
僕 先生が好きです……好きなんです！
今の僕はこんなだけど……
先生の好きだった人に負けないぐらいイイ男になれるよう努力するから……だから……
あ…あのだから……
だから……いつか僕のトコに戻ってきて……
いつまでも待ってますから…あの
先生……
私のあの部屋ね……
二年間大学のコーハイに貸したの……
また帰ってこられるように……
え……二年？
そう二年……二年したら私は帰ってきます
文宏クンの隣りのあの部屋に……
ズイ

私も……私も文宏クンがスキよ……
大スキ！
あ……あの……そーじゃなくて……なんとゆーか……
『男』として！好きなんですが……
…？私もそのつもりで言ったんだけど
『女』として
え……
ええっ
ドキッ
アアレもしかして僕ってニブイ!?
愛してるわ文宏クン！
ニコッ
もし二年後……
彼女がいなかったら……私を『彼女』にしてねっ
せ……
じ〜ん
ポロッ
先生…！
え……
ひしっ
ど どしたの文宏クン？
ゴ…ゴメンなさい……
きょ…今日泣かないように……昨日まで泣きおさめしといたのに……
うッ
ボロ
ボロ
おとといから水…飲んでないのに……
まだ……出てくる…ゴ ゴメ
わかってる……
わかってるわ——優しいね文宏クンは……
そーゆうところも……
スキよ
ああっ
向こうで祈ってるね
わあ
——二年後一緒の大学に通えることを……

ね…ホラ
もう泣きやんで
私まで悲しく
なっちゃう……
わ……
わかってます……
本当にゴメン
なさ…さい
ひっく
うっく
涙が…とま……
とまれ…とま
ひっく
ゴ……
ゴメ……
ひっく
もう行かな
くちゃ……
ね……
必ずまた会おう
ね…文宏クン
うっく
う…うん
い…行って
らっしゃい…い
先生……
うっく……
ひっく……
うっ…く
ひっく
……
あ…
ああっ…先生が
行っちゃう……
行っちゃう!
…う
行っちゃう
う……
せ……
せん……
う……
ううっ
う
ゴメンなさい
先生……
最後ぐらい
泣かずに
笑顔で見送ろうと
思ってたのに……
ひっく
うっく
できなかった
……
シュイイイ
ゴト……
ゴ……
イイ

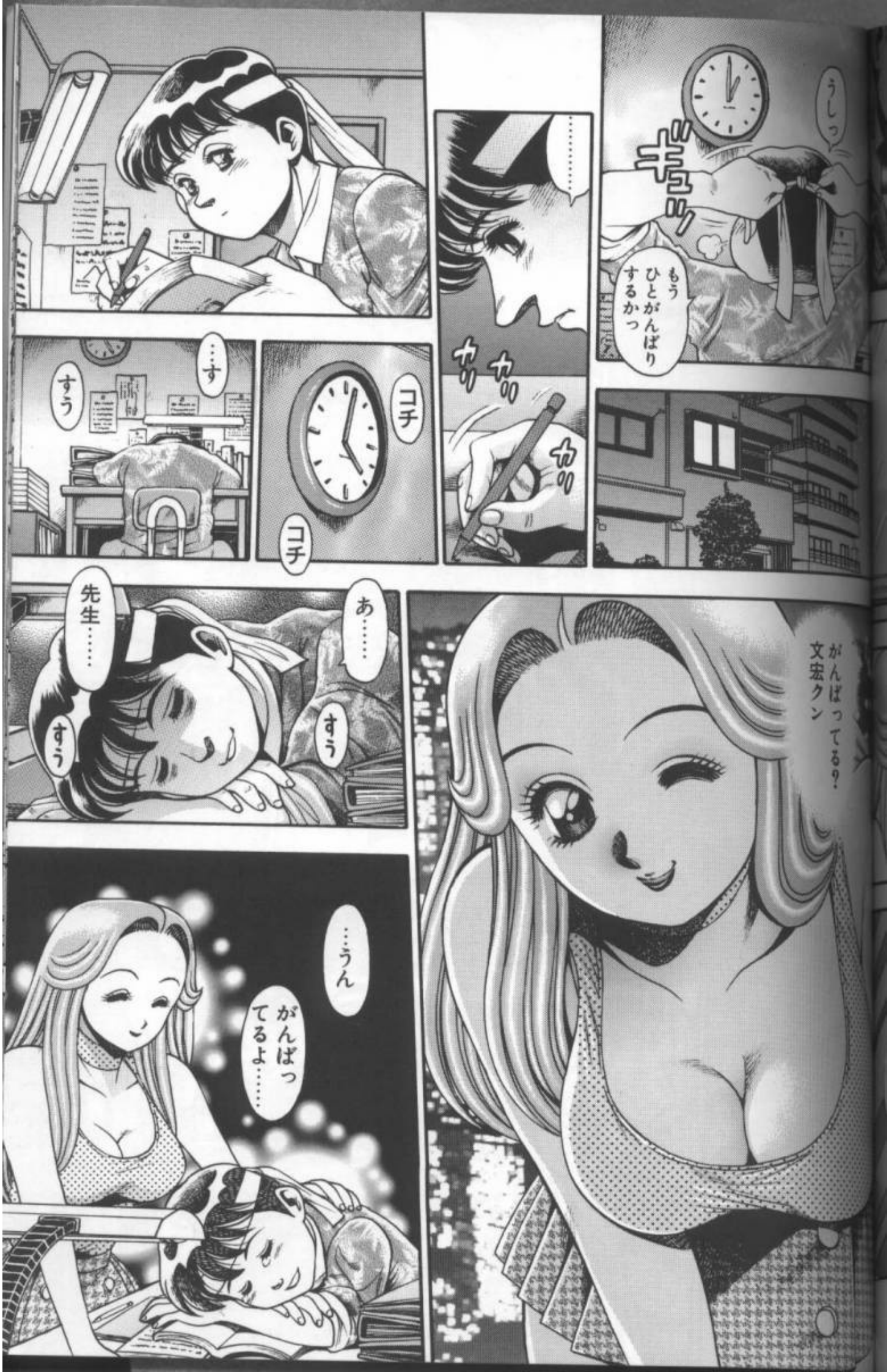

シュイイ…
当機はまもなく離陸します
座席のわきのシートベルトをご確認の上……
……
行ってきます文宏クン……
えっ
ドキッ
くるっ
オオオ

ゴオ
ヒュイイイイ
オオ
しゃかしゃか
しゃかしゃか
オオッ
え…えええっ
あれって……
もしかしてっ
文宏クン!?
ふっ
ななにしてるの━━っ!?
おこられちゃうよ━━っ
オオ
オオ
おおおおおっ!
しゃかしゃか
しゃかしゃかしゃか
Airlines

おおおっ
しゃかしゃかしゃかしゃか しゃかしゃかしゃか しゃか
しゃかしゃかしゃか
ぱっ
にかっ
しゃかしゃかしゃか
行ってらっしゃい先生ーーッ
気をつけてッ
ブルン
ブル
行ってらっしゃーいっ
がんばってね先生もぉーー!!
……
うっく
ふ…ふみ……ふみひろクン
何言ってるのか…全然わかんないよ……
ポロ ポロ
も……もう
危ないったら…えっく
えっく えっく…… 文宏クン……
ブオオオ

文宏クン…あなたは気づいてないかもしれないけど今のままでも十分輝いてるわ……
その元気な笑顔にどれだけ励まされたことか――
短かったけど文宏クンの家庭教師ができてホントよかったと思ってます……
ありがとう文宏クン私も元気にがんばるね――行ってきます！
ゴオオオ
わああっ！行ってらっしゃい先生――ッ
僕待ってるから――っ
絶対先生と同じ大学に入るからッ
がんばるから――ッ!!
ピーピー
コラ――ッお前――！
どっから入ってきた――っ
わ――っゴメンなさい――っ
チリンチリン
――先生……
あ～あ行っちゃった……
ゴオオ
ゴオオオ
わ――っあちあち

それからの僕はというと——
意外にもキチンと毎日勉強していた……
先生がいなくなった今『塾も必要』とも思ったが……
あえて行かなかった
先生以外の力で受かりたくなかった
先生が僕のためにワザワザ作ってくれた『傾向と対策ファイル』——
カリカリ
これで勉強してるとまるで先生がヨコにいるような連帯感……
勉強している時だけ僕はさみしくなかった
オヤ？
先生のいた部屋 電気ついてる
あ…そっか 先生の言ってた代わりの人か……
どんな人が……
カラ…
!!
ピシャツ
ドキ
わおっ♡
ナイスタイミン♡
こりゃまたセクシーなっ


うしっ
ギュッ
もう
ひとがんばり
するかっ
……
カリ
カリ
カリ
コチ
コチ
すう
…す
すう
あ……
先生……
すう
がんばってる？
文宏クン
…うん
がんばっ
てるよ……

——そして
またたく間に
月日はたち……
冬が来て——
受験日が来て——
合格発表の
日が来た……
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
合格ッ!!
合格……
合格した!!
先生と同じ
大学に合格
したぁ——!!
キャ——ッ
やったわねっ
文宏ぉ——♡
わあっ!
母さん
信じてた
わ——ッ
おめでとぉ
——♡
ぐるぐる
お父さんに
電話電話ッ
近所の人
集まるだけ呼んで
今夜はパーティーよっ!
ええっ
!?
わああっ!
どんちゃん
……
知らない
人までいる

…文宏
これ…文宏から預かった玲奈先生の電話番号……
泣き言言っちゃいそうって今日までかけずにガマンしてたものね……
遅くならないうちにかけなさいきっと待ってるよ
時差もあるし
うん……
……
ははは
ピ
ピ
ピ
トゥル……
トゥルル
トゥルル
ドキ
ドキ
ドキ
ガチャ
あせっ
あ……
あのモシモシ…山田ですが
あ……英語でかな…？
文宏クン？
文宏クンなの？
あ…懐かしい先生の声……先生の『文宏クン』
久しぶりっ文宏クン！
元気にしてた？
はっはいなんとか……
先生もお元気そうで……よかった……
どうですか？そちらでの生活は……
…はあ
やっぱり忙しそうですね――
……そうですよね――
えっ？ははっ
あはははは

僕 合格したよ……
ポロポロ
ポロポロ
せ……先生と先生と同じ大学に合格できたんだ……
ありがとう……
ありがとう先生のおかげだよ……
……え!?
ポト
ポト
文宏クン今なんて……ホントに!?
ホントなのね……
……
!?
よ……よかったねっ
えっく
……えっく
ホントに……ホントに……よかったねっ
文宏クンがんばったものね……
先生!?
おめでとう文宏クン……
……ありがとう
ありがとう先生……

お祝いしなくちゃね——
今スグは無理だけど
夏には一度帰れると
思うから……
また一緒に
あの『海』に
行こうか……
ホ…ホント
ですか!?
それはイイですね
楽しみです!
待ってます
から……
待ってます……
待ってます
から……
先生……
また夏が
来た——
大学生になって
初めての
夏休み——
今 僕は去年
お世話になった海の家の
オジさんのトコで
バイトさせてもらってる
ミーン
ミンミン
ホホホ
夏はいいのう
忙しくして
少しでも時間を
短く感じたかった
なぜなら……
ザ……
ザザ……

予定では
玲奈先生が
帰ってくるのは
八月後半

おおーい
カキ氷
食うじゃろーっ
一服せんかー？

はーい
食べまーすっ

いつになるか
正確な日時は
連絡待ちなのです
……

海浜
海の家

ふひゃーーっ
助かったーー

冷たー♡

しゃくしゃく

このクソ暑いのに
よう働くの――
今時ボーヤみたいのは
珍しいわい

も――っ
ボーヤじゃ
ないってば！

早くボインの
おねーさんから
連絡あると
いーのう――

バテて
のびちまう
前にの――

しゃくしゃく

そのボインて
言い方も
なんとか
なりません？

平気ですよ
おかげで体力
ついた感じだし

！

ズズ…

いらっしゃい
ご注文は？

――そうね
ヤキソバ
おいしそう

一つ
くださいな！
文宏クン

はいっ
ただいま……

…えっ

『文宏クン』
て…？

…あ

おッ

ボインの
おねーさん

予定より
仕事が早く
済んだから
……

二週間
帰ってて
いいって

来るの早め
ちゃった♡

お久しぶり
文宏クン！
——それと
ただいまっ
せ……
先生!?
先生ッ！
先生だ——っ!!

うわーーっ！ウソみたーーいっ
キャーーッ
玲奈先生ーーッ!!
海の家
お帰りなさい先生ーーッ
いつ帰ってたのーーっ!?
昨日の夜にねっ
お母様に聞いたらココだって……
わああっ♥
ぐるぐる
やっと会えたね文宏クン！
なんだか大きくなったみたい……
背伸びたカナ？
そ……そお？
ああっ先生だ……ホントに先生だっ！
先生！
すっごく会いたかったーーっ
正直さみしかったーーっ!!
…ウフフ本当なの？ソレーー
私も文宏クンに会いたかったワ
ホホホ
さみしい思いさせてゴメンね
え？
ううんううん

あともう一年あるけど……待っててくれる？
文宏クン
うん もちろん待ちます
先生！
…フフ もう文宏クンたら いつまでも『先生』じゃないでしょ！
え――っ 先生は先生だよっ
まだいろいろ教えてもらってるし……
いろいろって……
きゃっ
ぐるん
あはははっ やだぁ文宏クン
いいの
ワシもあと10年
若ければのう～
あはははっ
コワーい
コワいよ――っ
『人を好きになる』とゆーコトを僕に初めて教えてくれた女性(ひと)――
先生の笑顔を見るためならいつもより多くがんばれるとゆーコトも……
これからもきっと先生から教えてもらうコトはたくさんあるだろう――
みんなに見てもらいたいこの女性(ひと)が……この女性が僕の大好きな……僕の……

©1997 CHATARO

END

◘おんな教師／完

どうも、ちゃたろーです。
今回のこの『ビキニの玲奈先生』いかがでした？
僕にとっては『あんずちゃん』に引き続き、愛すべきキャラなのです。
最初はちょっと『気の強そうな先生を描こうかな』って始めたんですが、どうも描きづらくて…やっぱり優しい先生の方がいいなーなんて、2話目あたりから変えたんです。そしたら割とイイ感じで動いてくれて、結構この『玲奈先生』は楽しく描けました。文宏クンもちょっと自分ぽくて…自己満足です♥
タイトルの由来は、文宏クンが一番印象に残ってる玲奈先生ってコトで決めました。女のコのビキニ姿はやっぱりいーですしねー。(胸ポロしそうで……)

スケベなちゃたろーより